

平成25年度 松本市 小中学校 環境教育支援事業 報告書



松本市小中学校環境教育支援事業について

1 この事業について

学校内における環境教育の推進を図るために、専門性を有する企業・団体・個人が講師として実施できる環境教育プログラムを紹介し、環境学習の授業に活用していただくことで、学校内における環境教育の一層の推進を図るものです。

行政部門（松本市環境政策課：事業の全体調整）、教育部門（松本市教育委員会：市内小中学校との連絡・調整）、民間部門（中信地区環境教育ネットワーク：環境教育プログラムの作成・提案、講師団体との調整）の3者による協働事業として、平成22年度から実施しています。

2 経過

- (1) 平成25年4月15日 松本市小中学校校長会へ案件提出
- (2) 平成25年4月25日 松本市小中学校教頭会へ内容説明
各校に事業メニューの提示と希望調査
- (3) 平成25年5月10日までに18校から実施希望、問合せあり
- (4) 平成25年5月以降、順次事業実施

3 実施状況（平成26年2月1日現在）

- (1) 実施校 18校（小学校14校 中学校4校）
- (2) 実施人数 2,265名（小学生1,901名 中学生364名）
- (3) 実施事業 30事業（11メニュー）
- (4) 実施団体 12団体（9団体 3企業）

4 報告書構成

- (1) 松本市小中学校環境教育支援事業 報告書 1～60頁
- (2) 松本市小中学校環境教育支援事業 学習プログラム 61～78頁

平成25年度 松本市小中学校環境教育支援事業 報告書一覧							
番号	学校名	メニュー番号・内容	協力団体	実施児童、生徒	人数	実施日	頁番号
1	田川小	2 体感プログラムを中心とした自然体験学習	持続可能な松本平創造カンパニーわおん♪	4学年 2学級	46	9月2日	1～2
2	会田中	4 体感プログラムを中心とした自然体験学習	トゥモロー・リーディング倶楽部	1学年 2学級	43	7月5日	3～4
3	会田中	5 ぬかどご飯炊き体験、野鳥(アカゲラ等)の巣箱づくり	NPO安曇野ふるさとづくり応援団、あずみの再活の松プロジェクト	2学年	32	11月1日	5～6
4	会田中	9 やさしい放射線の実験教室	株式会社環境技術センター	3学年 2学級	43	7月4日	7～8
5	菅野小	9 やさしい放射線の実験教室	株式会社環境技術センター	6学年 1学級	27	6月20日	9～10
6	会田中	10 小水力発電機による自然エネルギー体験	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク(エコネットまつもと)	3年生 2学級	43	8月30日	11～12
7	菅野小	10 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドル作り	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク(エコネットまつもと)	6年生 1学級	27	11月25日	13～14
8	高綱中	10 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドル作り	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク(エコネットまつもと)	特別支援学級	11	8月5日	15～16
9	二子小	11 マイ箸づくり	寿飽の会	4学年 2学級	60	12月17日 12月18日	21～22
10	島立小	11 マイ箸づくり 12 裁縫作業指導	寿飽の会、社協ボランティア(島立地区ボランティア部会)	6学年 2学級	65	11月22日	17～18
11	高綱中	11 マイ箸づくり 12 裁縫作業指導	寿飽の会、社協ボランティア(和田地区ボランティア部会)	2学年 3学級	109	11月8日	19～20
12	会田中	13 エコと太陽光発電教室	パナソニック株式会社エコソリューションズ社松本営業所	1学年	43	9月10日	23～24
13	中山小	14 生ゴミ処理機を使用した堆肥作り	株式会社キクイチ	4学年 1学級	26	6月5日	25～26
14	中山小	16 木の授業とバームクーヘン作り	寿さと山くらぶ	4学年 1学級	26	10月31日	27～28
15	二子小	16 木の授業とバームクーヘン作り	寿さと山くらぶ	ひまわり・あおぞら学級(特別支援学級)	7	11月18日	29～30
16	田川小	17 木材の活用法	松本市林業士会	6学年 2学級	59	12月24日	31～32
17	梓川小	18 緑のカーテン	松本市緑化協会株式会社奥原造園	6学年 5学級	147	5月17日	33～34
18	今井小	18 緑のカーテン	松本市緑化協会株式会社奥原造園	1学年 1学級 2学年 1学級	51	5月22日	35～36
19	開智小	18 緑のカーテン	松本市緑化協会株式会社奥原造園	4～6学年 各1学級	86	5月20日	37～38
20	鎌田小	18 緑のカーテン	松本市緑化協会株式会社奥原造園	1学年 5学級 4学年 1学級 特別支援学級 2学級	210	5月16日	39～40
21	島内小	18 緑のカーテン	松本市緑化協会株式会社奥原造園	1学年 4学級 2学年 4学級	236	5月27日	41～42
22	菅野小	18 緑のカーテン	松本市緑化協会株式会社奥原造園	1学年 4学級 2学年 4学級	232	5月14日	43～44
23	菅野中	18 緑のカーテン	松本市緑化協会株式会社奥原造園	特別支援学級(アルプス学級)	4	5月23日	45～46
24	田川小	18 緑のカーテン	松本市緑化協会株式会社奥原造園	1学年 2学級	37	5月17日	47～48
25	中山小	18 緑のカーテン	松本市緑化協会株式会社奥原造園	2学年 1学級	21	5月30日	49～50
26	波田小	18 緑のカーテン	松本市緑化協会株式会社奥原造園	1学年 2学年 特別支援学級	304	5月15日	51～52
27	波田中	18 緑のカーテン	松本市緑化協会株式会社奥原造園	生徒会活動 5クラス分	36	5月18日 ネット設置	53～54
28	本郷小	18 緑のカーテン	松本市緑化協会株式会社奥原造園	4学年 2学級	59	6月3日	55～56
29	源池小	18 緑のカーテン	松本市緑化協会株式会社奥原造園	4学年 2学級	51	5月28日	57～58
30	芳川小	18 緑のカーテン	松本市緑化協会株式会社奥原造園	4学年 4学級	124	5月21日	59～60
計	18校	12種類	9団体 3企業	2,265人 (小学校1,901人、中学校364人)			

授 業 名	体感プログラムを中心とした自然体験学習
実施学校名	田川小学校
実施学年、学級 参加人数	4 学年 2 学級 参加人数 4 6 名
担当者	4 年 1 組担任 吉江 哲也
実施日（期間）	平成 2 5 年 9 月 2 日（月）
協力団体名	持続可能な松本平創造カンパニーわおん♪
実施概要	<p>1 「つるザラ1グランプリ」 中庭の草、葉の中から、つるつるしたものザラザラしたものを探してきて、誰の持ってきたものが1番か競う。その後、ルーペを使って、なぜつるつるザラザラなのか確認する。</p> <p>2 「フィールドビンゴ」 ビンゴカードに書かれたお題（例：秋を感じるもの、いやなにおい等）を、中庭で様々な感覚を使って見つける。</p> <p>3 「森の美術館」 枠を美術館の額に見立てて、中庭で面白いものを探し、そこに額とタイトルを付けて、美術作品をつくる。中庭をみんなのつくった美術作品が集まった美術館にする。</p>
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>「これから、 どんなことが 始まるのかな？」 わおんの方の話に 耳を傾けます。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 20px;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>『つるザラ1グランプリ』 「どの葉っぱが つるつるしている？」 「こっこの葉っぱは ザラザラしている。」 一枚一枚触りながら、 触り心地を試しています。</p> </div> </div>

<p>実施状況 (授業風景)</p>	 <p>『フィールドビンゴ』 「つめたいものって？」 「いやなにおいって？」 まるいもの？あたたかいもの？ 木の実？巣？ …いろいろ見つけていきます。</p>   <p>『森の美術館』（子どもの作品）</p>		
<p>授業について</p>	<table border="1" data-bbox="485 797 1471 853"> <tr> <td data-bbox="485 797 715 853">記入者</td> <td data-bbox="715 797 1471 853">4年1組担任 吉江 哲也</td> </tr> </table> <p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul data-bbox="528 902 1437 1384" style="list-style-type: none"> ・一番楽しかった所は、自分たちで美術館をやったことです。人に自分の作った物を見てもらえたから一番楽しいと思いました。 ・一番最後の絵の美術館で、すてきなものを作ったんだけど、（片付けるときに）とってしまうのは悲しかったし、もっといろんな人に見てもらうためにかざっておきたかった。 ・ビンゴをしておもしろいものをたくさん見つけられた。例えば藤の豆。さわってみるとふわふわしていてきもちよかった。 ・学校にいるとき、あまりネイチャーゲームをやったところに行き行って遊んだことがありませんでした。でもこれをやったら、ここで遊んでみようと思いました。 ・「森の美術館」の活動が特に楽しかったです。（多数） <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul data-bbox="528 1433 1437 1839" style="list-style-type: none"> ・活動そのものが、子どもたちにとって無理のないものであり、またいつの間にか自然に触れ合うことができるものであったため、夢中になり、楽しみながら2時間中庭の自然と向き合うことができた。 ・普段あまり「自然」を意識することのない子どもたちにとって貴重で楽しく有意義な時間であったと思う。 ・子ども達一人ひとりに十分な道具を用意してくださり、ありがたかった。 ・子ども達の声がけも優しく、それが子ども達の励みになり活動の意欲づけとなっていた。 <p>3 その他</p> <ul data-bbox="528 1888 1437 2004" style="list-style-type: none"> ・来年度も引き続いて実施できるように願います。 ・新しい内容があるようなら、1，2年おいて再度活動してみたいです。 	記入者	4年1組担任 吉江 哲也
記入者	4年1組担任 吉江 哲也		

平成25年度 松本市小中学校環境教育支援事業報告書 【番号：2】

授 業 名	体感プログラムを中心とした自然体験学習
実施学校名	会田中学校
実施学年、学級 参加人数	1学年（43名）
担当者	吉田 正人 教諭 1学年担当職員
実施日（期間）	平成25年7月5日（金）
講師名	トゥモロウ・リーディング倶楽部
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・体験アクティビティー（室内体験学習） ・自然観察学習 ・火おこし体験
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;">  <p>遊びながら地球や生物について学習した。</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: right;"> <p>遊びながら地球や生物について学習した。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>学校裏の山林で植物の種類や外来種の説明を聞く。</p>  </div>

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;">  <p>昔の道具を使って火おこしに挑戦。なかなか火がつかず，苦戦。</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;"> <p>見事に火をつけることに成功。</p> </div> <div style="width: 30%;">  </div> </div>	
<p>授業について</p>	<p>記入者</p>	<p>吉田 正人</p>
<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火をおこすのはとても時間や体力を使った。今はマッチやライターがあるのですぐ火はつくけど，火をおこすのは時間がかかったので昔の人はすごく大変だったと思った。私が全然火がつかない時，友達が助けてくれたり，励ましてくれてうれしかった。 ・外来種のクローバーや取ってはいけない黄色い花が会田中の裏山にはけっこうあったので，びっくりした。クローバーなどは靴の裏などにくっついてきて日本で増えるので，すごいと感じた。また今は増えすぎつつあるので，あまり増やさないように注意したいと思う。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の先生方がそれぞれの専門知識を生かし，体験的な学習を中心にプログラムを組んでいただき，生徒たちも興味を持って取り組めた。（特に火おこしには熱心に取り組む姿が多かった） 		

授 業 名	ぬかくどご飯炊き体験、野鳥（アカゲラ）の巣箱づくり
実施学校名	会田中学校
実施学年、学級 参加人数	2学年 32名
担当者	中川由香里 教諭 他2学年担当職員
実施日（期間）	平成25年11月1日(金)
講師名	NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団 あずみの再活の松プロジェクト
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和初期に使われていた「ぬかくど釜」を使ってご飯を炊く。 ・マツクイムシの学習をし、アカゲラの巣箱を作り設置する。
実施状況 (授業風景)	<p>最初にぬかくど釜の特徴や使い方の話をいただきました。その後、もみ殻を入れて火をつけ、ご飯を炊き始めました。</p>   <p>次は、アカゲラの巣箱作りです。なぜ、マツクイムシを減らさなければいけないのか、アカゲラはどのような役目をしてくれるのかを学び、巣箱を作り始めました。アカゲラが入ってくれるように、分からないところは講師の先生に聞きながら班ごと丁寧に作りました。</p>   

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>ぬかくど釜で炊いたご飯が炊きあがり ました。みんなでこのご飯で塩おにぎ りを作り食べました。釜で炊いたご飯 はとても美味しかったと生徒達は喜ん でいました。</p>  <p>その後、作ったアカゲラの巣箱を木に設 置しました。これで少しでもマツクイム シの被害が減ることを願って、その瞬間 をみんなで見守りました。</p> 		
<p>授業について</p>	<table border="1" data-bbox="480 719 1473 792"> <tr> <td data-bbox="480 719 715 792">記入者</td> <td data-bbox="715 719 1473 792">小林 拓也</td> </tr> </table> <p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>○もみ殻って便利だなと思った。お米を作っている家ではたくさん出てしまっ て邪魔にいなるものを使うことで、お米を炊くなんて昔の人はすごいなと思 った。これを使えばガスや電気を使わなくてもいいので、覚えておこうと思 った。</p> <p>○炊飯器で炊いたご飯より、ホカホカ、フワフワで本当に美味しかった。昔の 人たちが電気も使わずにあんなほかほかなご飯を作っていたということがす ごいなと思った。</p> <p>○アカゲラの巣箱を作ってみて、のこぎりで一生懸命切ったり、アカゲラがと まりやすいように溝を作ったり、他の鳥が卵を産まないように底を開けたり と、アカゲラが過ごしやすい巣箱を作ることができました。一生懸命作るこ とができたので、ぜひアカゲラが私たちが作った巣箱に入ってほしいです。</p> <p>○今、マツクイムシの被害は松本四賀で急速に広がっているということを知り ました。葉をまくにも、処理するにもお金がかかるけれど、アカゲラに幼虫 を食べてもらうのは、あまりお金がかからないから良いなと思いました。友 達と協力して作った巣箱にアカゲラが来てくれて、幼虫を減らしてくれたら うれしいです。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>炊飯器や薬、便利なものが多く出てきている現代。便利さを追求することはあ っても、昔から大事にしている知恵や自然と共に生きる姿勢を学ぶ機会意外 と少ないように感じます。今回は実際に作ったり、食べたりすることで昔から あるものの良さを肌で感じる事ができたと思います。このような機会は今の 子ども達には特に必要なのだと感じました。</p>	記入者	小林 拓也
記入者	小林 拓也		

授 業 名	やさしい放射線の実験教室
実施学校名	会田中学校
実施学年、学級 参加人数	3学年 43名
担当者	丸山 博教諭 他3学年担当職員
実施日（期間）	平成25年7月4日（木）
講師名	株式会社環境技術センター
実施概要	<p>講義 ・放射線について，エネルギーについてなど</p> <p>実験 ・放射線測定器を用いた測定実験(校舎内外各所の測定) ・遮蔽実験 ・軌跡の実験</p>
実施状況 (授業風景)	<p>最初に，放射線やエネルギーに関する基礎的な事項について，講師の宮澤先生から教えていただきました。</p>   <p>基礎的な事項について理解した後，放射線測定器を用いて測定です。</p> <p>最初に，測定器の使い方を確認した後，校舎内外各所の放射線量を各自測定します。</p>   <p>続いて，遮蔽実験を行いました。鉛の効果が高いようです。</p> 

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>最後に、放射線の軌跡を見る実験をしました。宮澤先生手作りの実験器具で、しっかりと観察出来ました。生徒たちは、幻想的な光景に感動していました。</p>  	
<p>授業について</p>	<p>記入者</p>	<p>丸山 博</p>
<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等（日記より）</p> <p>○ 放射線についての特別授業を受けました。「放射線は日頃どれくらい出ているか」と聞かれて、太陽放射線や大地からの放射線だけだからそんなに浴びないと思っていました。しかし、空気中や食べ物にも含まれていると聞いて驚きました。カリウムも放射線を発していることに驚きました。今も身の回りで数多くの放射線があらゆる方向を飛び回っていると考えたと、目に見えないだけあって不思議です。</p> <p>○ 2～4 時間目に「やさしい放射線」のことについてやりました。長野県には放射線が少ない方だったので、やはり自然豊かでないかと思いました。実験では、ペットボトルを入れてある箱が特に高かったです。他の班や先生の測定結果を聞いて、パソコンが 1.7 以上もあって、パソコンをあまり長い時間やるのはよくないことと、携帯も持っているだけで放射線が出るので怖いなということを感じました。このことを学んでから、被災地の所は放射線量がすごい高いと改めて感じました。</p> <p>○ 今日は、放射線の実験教室というのがありました。最初、怖い感じがしていました。実験の中では、実際に外へ行って放射線を測ったり、ドライアイスを使って放射線の軌跡を見たりしました。ドライアイスを使った実験は、本当にすごかったです。短い線と太い線との違いもはっきりと分かりました。放射線は結構身近なものだと分かりました。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>3・11以降、放射線に関する情報が溢れるようになった。しかし、生徒たちをはじめ多くの国民は放射線のことを詳しく知らないために恐怖心ばかりがわき起こっている。そんな時に、この授業は生徒たちに正しい理解を与え、変な恐怖心から偏見、差別などが生まれることを未然に防止して、放射線と向き合いながら復興に力を発揮しようと思える内容であった。</p> <p>3 その他</p> <p>やや高度な話もありますが、とても楽しく学べた実験教室でした。</p>		

授 業 名	やさしい放射線の実験教室
実施学校名	菅野小学校
実施学年、学級 参加人数	6学年 1学級 参加人数27名
担当者	6年3組 担任 丹羽 あや子
実施日（期間）	平成25年6月20日（木）
協力団体名	株式会社環境技術センター
実施概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 放射線についての基礎的な講義。 2 計測機を使って、身近にある放射線の測定。 3 簡単な実験装置を作って、放射線の軌跡を確認する。
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>パワーポイントで、放射能とはどんなものかの説明を受け、質問をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>計測機で放射性物質の放射線を測定する。</p>

実施状況
(授業風景)



計測機を持って自由に測定。



実験装置作り。

記入者 丹羽 あや子

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・ニュースなどで聞いたことがある「放射能・放射線」は、今まで意味がよくわからなかったけど、この授業で、身近にあるものなんだということがわかった。
- ・怖いものだと思っていたけれど、レントゲンにも使われていると聞いてびっくりした。
- ・地球の歴史がわかるものだと聞いて不思議だと思いました。もっと実験がしたかったです。
- ・放射能は目に見えないけど、実験で通った後（軌跡）を見れたのがおもしろかった。
- ・原子力発電は石油や石炭よりもたくさん発電できるけど、事故が起きることもあるので気をつけたい。
- ・自分で放射能を測るのがおもしろかった。いろんな場所で数値が違っていた。

2 先生方の感想、要望等

子ども達にとって全く未知の「放射能」でしたが、怖いというイメージを持ってむやみに避けるよりも、きちんと理解してどのように関わっていけばよいかを考えるいい機会になりました。測定器を使わせていただいたり、簡単でも驚きのある実験をしていただいたりと、環境センターの方には大変お世話になりました。

原子力発電や新しいエネルギーなどについても考え、これからの子ども達にとってとてもためになる時間だったと思います。ありがとうございました。

授 業 名	小水力発電機による自然エネルギー体験学習
実施学校名	会田中学校
実施学年、学級 参加人数	3学年43名
担当者	丸山博教諭他 3学年担当職員
実施日（期間）	平成25年8月30日（金）
講師名	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと） ・寿さと山くらぶ 鈴木 喜一郎 様 ・NPO法人信州松本アルプスの風 月岡 通孝 様
実施概要	<p>講義 ・自然エネルギーへの正しい理解など</p> <p>実験 ・小水力発電機を用いた発電実験（水力・手回し他） ・自転車発電</p>
実施状況 (授業風景)	<p>最初に、月岡先生からエネルギー全般に関して、また、自然エネルギーについての基礎的なことについてお話ししてもらいました。</p>  <p>基礎的なことについて理解した後、早速外に出て実験です。</p> <p>まずは、小水力発電機を普通に水力で回し、発電します。かなりの勢いで発電機が回り、電球が点灯すると「お〜っ！」というどよめきと拍手が起きました。</p> 

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>続いて、小水力発電機を手回しで回してみます。 その際、電球を白熱電球からLED電球に変えたり、二つの電球を同時に点灯したりして負荷を変えながらの実験を行いました。生徒たちは、LED電球の負荷の小ささを、というより、白熱電球の負荷の大きさを実感していました。</p>  <p>続いて、自転車発電機でやはり電球の種類や量を変えながら負荷を変える実験を行いました。電球一つ付けるのもかなり大きなエネルギーが必要であることを実感していました。</p> 	
	<p>授業について</p>	<p>記入者 丸山 博</p>

授 業 名	竹筒と蜜蝋を使ったキャンドル作り
実施学校名	菅野小学校
実施学年、学級 参加人数	6学年 1学級 参加人数27名
担当者	6年3組 担任 丹羽 あや子
実施日（期間）	平成25年11月25日（月）
協力団体名	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・竹筒と蜜蝋が、なぜエコだといえるのかの講義。 ・廃材の竹筒にドリル等で穴を開け、模様をつける。 ・ミツロウをとかして型に入れ、キャンドルを作る。 ・キャンドル立てを竹筒の中にセットする。
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">  <p style="margin-top: 10px;">竹筒と蜜蝋は環境に与える負担が少ないことを教えていただく。</p>  <p style="margin-top: 10px;">ドリルで思い通りの模様をつける。</p>  <p style="margin-top: 10px;">自分達でドリルを使う。</p> </div>

<p>実施状況 (授業風景)</p>	 <p>実際にキャンドルに火をつけて、どんな雰囲気になるか確かめる。</p>  <p>冬のキャンドルナイトに作品展示。</p>		
<p>授業について</p>	<table border="1" data-bbox="478 795 1473 869"> <tr> <td data-bbox="478 795 715 869">記入者</td> <td data-bbox="715 795 1473 869">6年3組担任 丹羽 あや子</td> </tr> </table> <p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蜜蝋のろうそくは二酸化炭素があまりでないということがわかった。これからも使っていきたい。 ・電気ばかり使わないで節電に心がけ、今日作ったキャンドルで過ごすのもいいと思いました。 ・ろうそくの明かりは心が温まる感じがするので、家族と使いたい。 ・竹がかたくて、ドリルが難しかった。親切に教えてくれてありがとうございます。 ・計画したデザインとちょっと違うのができたけど、がんばれたのでいいと思いました。 ・夜にキャンドルを入れてはやく使ってみたいです。 ・ドリルは初めてなのでいい経験になりました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>地球温暖化の原因は二酸化炭素であるということを調べてきた子ども達が、「ものを燃やすと二酸化炭素ができる。」という理科の実験を思い出し、「ろうそくはものを燃やしているが、電気を使うよりも果たしてエコなのか。」という疑問にたどり着きました。エネルギー問題に関心を寄せ、むやみに電気にたよるよりも、地球環境に負担を与えない範囲で楽しむことを見つけるいい機会になったと思います。半日間講師の先生方には大変お世話になりました。子ども達もいい経験ができたと喜んでいました。クリスマスシーズンに家族で使ってみたという家もあり、家族の会話のきっかけにもなったようです。本当にありがとうございました。</p>	記入者	6年3組担任 丹羽 あや子
記入者	6年3組担任 丹羽 あや子		

授 業 名	竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり
実施学校名	高綱中学校
実施学年、学級 参加人数	5・6組特別支援学級 人数 11名
担当者	5組担任 中川満英 6組担任 古川真美
実施日（期間）	平成25年8月5日（月）
協力団体名	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと）
実施概要	<p>1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくりの概要についての説明、使用する道具の使い方、キャンドルのイベント等について講師の皆さんから話を聞いた。</p> <p>2 ボランティア会の指導で、竹筒を切る、ドリルで穴を開け、ガラス玉の装飾、蜜蝋を溶かし、ろうそくの芯を入れてろうそくづくりを行った。</p> <p>3 自分達で作った竹筒に入れたろうそくに火をともし、ガラス玉の装飾による色とりどりの光を見ることで、作品のおもしろさ、仲間の装飾における工夫などを見合うことができた。</p>
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>装飾の仕方についての指導①</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>一人一人がドリルで穴を実施。</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>指導者の先生方と協同制作です</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>蜜蝋について教えていただく。</p> </div> </div>

実施状況
(授業風景)



蜜蝋を型にそっと流し込みます。



ろうそくの芯を真ん中にいれます。

授業について

記入者 中川 満英

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・知的障害児学級生徒8名、自閉症・情緒障害児学級生徒3名の計11名で学習を行った。最初は、作品づくりに不安をもっていた生徒たちであったが、ボランティアの方々の丁寧な個別対応によって、のこぎりを使っての竹筒の切断、ドリルでの穴開け、ホットボンドの使い方など安全に作業することができた。どの生徒も集中して、自分自身の作品を作り上げることができ、大変よい表情で活動を終えることができた。

2 先生方の感想、要望等

- ・事前の打ち合わせ段階から、丁寧な対応をしていただき感謝しています。当日は、講師の先生や何人ものボランティアの方々の熱心な指導のおかげで、どの生徒たちも大変集中して作品づくりに取り組み、全員が完成することができました。

また、その作品づくりの様子などを文化祭で発表することで、生徒たちも大変自信をつけることができました。保護者の方々も大変喜んでいらっしゃいました。ありがとうございました。

3 その他

- ・指導のみなさんに準備から本当に丁寧に関わっていただいたことにあらためて感謝したい。

授 業 名	マイ箸づくり	
実施学校名	二子小学校	
実施学年、学級 参加人数	4年1組（31人）2組（29人）	
担当者	田中久美子、赤瀬大樹	
実施日（期間）	1組…平成25年12月17日、2組…平成25年12月18日	
協力団体名	寿匏の会	
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・木材、主に檜の説明 ・箸の種類について ・道具の使い方や心構えについて ・作業（肥後の守、かんなの使い方の指導） ・しあげ 	
実施状況 (授業風景)	 <p>全体説明を聞いて、作業を開始する児童たち</p>	 <p>個々に鬼頭さんに出来を見てもらう児童たち</p>
	 <p>初めての肥後守に悪戦苦闘</p>	 <p>校長先生も急遽、参戦</p>

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>かんなって、削るのは難しいと何度もチャレンジ</p> <p>集中して、家族の分も含めて何本も箸を製作中</p>	
<p>授業について</p>	<p>記入者</p>	<p>4年2組 担任 赤瀬 大樹</p>
<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使った事のない、肥後の守やかんなを使って作業できて、とても楽しかったです。 ・練習用もさっさと作り、本番用もさっさと作り、2本目、3本目…と、何本も作ることができて、自分の分だけでなく、家族の分まで作る事ができて、とてもうれしかったです。 ・先を細くする事が難しくて、削りすぎて、エンピツのようにとがってしまった。寿鮑の会の方に相談したら、すぐにやり直してくれて、助かりました。 ・力加減が難しかったけど、うまく道具を使って、箸を作れたので、うれしかったです。 ・自分で自分の道具（箸）を作れて楽しかったです。ぼくは早速、その日の給食で使いました。自分で作った箸を使って食べる給食は格別でした。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細かく、丁寧に指導をしていただいて、ありがたかったです。刃物を使う授業になるので、こちらとしても少し緊張しましたが、当初予定していた講師の先生よりも1名多く来ていただき、その点の不安も解消されたので、とても助かりました。 ・講師の先生のお話にもありましたが、何本も作る事ができた最大の秘訣は、作業をしやすいように、肥後の守やかんなをあらかじめ磨いてきていただいたおかげです。作業をしやすくするためには、準備に手間暇をかけて、実際の作業にはそれほど時間をかけない。この準備を怠っていると、進めたい作業もどんどん進める事ができないと教わり、勉強の面でも生活の面でも役立つ、大変ありがたいお話をお聞きすることができました。 		

授 業 名	マイ箸づくり、裁縫作業指導（マイ箸収納袋制作）
実施学校名	島立小学校
実施学年、学級 参加人数	6 学年 2 学級 参加人数 65 名
担当者	6 年 2 組 担任 木村令子
実施日（期間）	平成25年 11 月 22 日（金）
協力団体名	寿匏の会、社協ボランティア（島立地区ボランティア部会）
実施概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 地元の木材を活用し、檜の木の持ち味を肌で感じ、手触りや香を楽しみながら箸作りに取り組んだ。マイ箸作りを通して、貴重な森の資源について考えを深めることができた。 2 寿匏の会の指導で檜の端材をけずって、かんなをかけ、自分だけのマイ箸を作ることができた。 3 島立公民館のボランティアの方にきていただき、手縫いで箸入れを作ることができた。
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>木材について</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>小刀、匏の使い方</p>  </div> </div> <p style="text-align: center;">丁寧に仕上げている</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>手縫いで箸袋を縫う</p> 	
<p>授業について</p>	<p>記入者</p>	<p>木村 令子</p>
<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>○はし作りと袋作りをしました。最初に袋を作りました。袋作りは、おばあちゃんたちとしゃべっていると、自分のおばあちゃんと知り合いだったからよく話せました。教えてもらいながら、上手に作ることができてよかったです。</p> <p>○はし作りの方で、最初は、練習し、木をけずってみたら、結構難しく、がたがたになって、本番は、さっきよりきれいに出来たので、うれしかったです。</p> <p>○学校で教わった箸袋を家で作ってみました。お父さんへのプレゼントにしたら喜んでくれました。</p> <p>○かんなどで削るのは難しかったけれど、上手く作ることができてよかったです。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>二クラスで箸作りと箸の袋作りを前半と後半で交代して行いました。箸作りは、丁寧にまた、分かりやすく制作を進めていただきました。特に子どもたちが使いやすいように道具を準備（人数分）していただき、子どもたち一人も困ることなく集中して、箸を完成させることができました。練習→本番とやっていただいたおかげで、かんや小刀の使い方が上手になりました。普段あまり使うことのない道具もこの機会に体験することができたこと、また、ひのきの香りが教室いっぱいになり、丁寧な作業をくり返すことによって、箸が完成する体験を通して、子どもたちは様々なことを学ぶことができました。</p> <p>また、箸袋作りは、島立公民館のボランティアの方が大勢来て頂き、4人グループに一人ずつ教えて頂き、手縫いの箸袋を作る個とことができました。ボランティアの方が地域の方であったので、子どもたちも親しく話しながら、楽しく制作することができました。子どもたちは、家に持ち帰り、大切に使いしていきたいと思っています。</p>		

授 業 名	マイ箸づくり、裁縫作業指導（マイ箸収納袋制作）
実施学校名	高綱中学校
実施学年、学級 参加人数	2学年 3学級 参加人数109名
担当者	2年1組 担任 清沢 淳
実施日（期間）	平成25年11月8日（金）
協力団体名	寿匏の会、社協ボランティア（和田地区ボランティア部会）
実施概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 ヒノキの特性やヒノキの端材を使った箸の作り方、道具の扱い方について講師の方の話を聞いた。 2 ボランティア会の指導で、ヒノキの端材を削って自分だけのマイ箸を制作した。 3 布を裁断し、自分の箸が入るように、手やミシンを使って箸を入れる袋を作った。
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>カンナの使い方の指導場面です</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>一人一人が箸づくりに挑戦です</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>箸の先づくりがむずかしいです</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>うまくなりましたよ。見て！</p> </div> </div>

実施状況
(授業風景)



男子でもミシンで袋づくりに挑戦です



袋の折り方を教えてもらいました。

授業について

記入者 清沢 淳

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・袋づくりと箸づくりをやりました。袋づくりを丁寧に教えていただいたので、思ったよりきれいにできました。とてもうれしかったです。箸づくりは難しかったです。表面がでこぼこしてしまって、うまく作れませんでしたでしたが楽しくできてよかったです。
- ・マイ箸づくりとマイ箸袋づくりをしました。袋はきれいに作ることができました。作り方を覚えたのでお母さんにも作ってあげたいです。マイ箸は、練習用がとてもとがってしまったけど、本番はとがらなかったのがよかったです。

2 先生方の感想、要望等

- ・松本市エコスクール事業として、マイ箸づくりと箸袋を学年全体で挑戦した。ヒノキを使うことで、ヒノキの香りの良さ、ヒノキの特質や価値について、鬼頭さんの丁寧な説明や生徒自らの製作活動を通して学ぶことができたことがよかった。
- ・普段使わない、カンナ、小刀、やすりをボランティアの皆さんに丁寧に指導いただき、一人一人が自分の箸づくりに取り組むことができた。今回の経験がなかったら、一生使うことがない道具に、エコ活動をリンクして体験できたことは生徒達にとって貴重な体験になり、マイ箸、袋をもつことであらためて実感することができたと思う。

3 その他

- ・指導のみなさんに準備から本当に丁寧に関わっていただいたことに感謝したい。

平成25年度 松本市小中学校環境教育支援事業報告書 【番号：12】

授 業 名	エコと太陽光発電教室	
実施学校名	会田中学校	
実施学年、学級 参加人数	1学年（43名）	
担当者	吉田 正人 教諭 1学年担当職員	
実施日（期間）	平成25年9月10日（火）	
講師名	パナソニック株式会社 エコソリューションズ社	
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発電方法，自然エネルギーの説明 ・ 太陽光発電の実験 ・ 太陽電池の特徴や日常生活の活用 ・ 日常生活でできるエコ活動 	
実施状況 (授業風景)	 <p>太陽光発電の説明を聞いている。</p>	 <p>太陽光発電の実験 (発電量や温度の変化)</p>

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div data-bbox="485 159 1023 562" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1054 174 1374 248">季節による発電の違い (夏至・秋分・冬至)</p> <p data-bbox="770 629 900 663">感想発表</p> <div data-bbox="943 568 1430 931" data-label="Image"> </div>	
<p>授業について</p>	<p>記入者</p>	<p>吉田 正人</p>
<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は環境学習で太陽光発電のことやエコについてやりました。1組2組合同の班でした。テーブルの上にはかなり大きい実験する機械がありました。小さな太陽光パネルに光を当てると発電しました。でも、雲でライトの光を遮ると発電量は少なくなっていました。太陽光発電は太陽光がない日だと発電をあまりしなくなってしまうことが体験できました。だから天候に左右されないような、日光が少なくても発電できるパネルがあったら便利だなと思いました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電の説明などは生徒にとってちょっと難しかったが、太陽光発電の実験は、興味を持って取り組んでいる生徒が多かった。 ・太陽のエネルギーってすごいんだ、そのエネルギーでみんな生きてるんだということがわかる内容で良かった。 		

授 業 名	生ゴミ処理機を利用した堆肥作り	
実施学校名	中山小学校	
実施学年、学級 参加人数	4学年1学級 参加人数26人	
担当者	小澤 雅子	
実施日（期間）	平成25年6月5日（水）～11月7日（木）	
協力団体名	株式会社 キクイチ	
実施概要	生ゴミ処理機を使って家庭から出た生ゴミで堆肥を作る活動をした。	
実施状況 (授業風景)		生ゴミ処理機「はらぺこくん」の使い方について説明を聞く。
		生ゴミ処理機「はらぺこくん」で、どのように堆肥が作られるのかについて説明を聞く。

<p>実施状況 (授業風景)</p>		<p>発酵させて出来上がった堆肥を届けていただく。</p>
		<p>出来上がった堆肥を触ってみる。「生ゴミの臭いが全然しない」「土みたい」</p>
<p>授業について</p>	<p>記入者 小澤 雅子</p>	
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はらぺこくん」で堆肥になったものは、生ゴミの臭いが全然なくて驚いた。 ・生ゴミを家から持ってくるのは少し大変だったけれど、たくさんの堆肥になってよかった。 ・「はらぺこくん」で作られた堆肥は、土によい働きをすることをキクイチの百瀬さんから教えてもらった。畑に入れて、元気な土にしたい。 ・生ゴミを堆肥にして、ゴミを減らすことができよかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ゴミ処理機で作られた堆肥の効果について詳しく教えていただき、大変参考になりました。 ・自分の家から持ってきた様々な形状の生ゴミが、処理されて堆肥になった様子を実際に見ることで、子どもたちがとても驚き、微生物の力のすごさを感じることもできました。 ・社会の学習と関連させて行うことができ、ゴミを減らすための手立てとして有効であることを感じる事ができたと思います。ありがとうございました。 	

授 業 名	木の授業とバウムクーヘン作り
実施学校名	中山小学校
実施学年、学級 参加人数	4学年1学級 参加人数26人
担当者	小澤 雅子
実施日（期間）	平成25年10月31日（木）
協力団体名	寿さと山くらぶ
実施概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 間伐材を利用した名札作り 2 バウムクーヘン作りの体験
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;"> <p>間伐材を使って名札を作る。「どの色のマジックで書こうかな。」「絵も入れてみよう。」</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;"> <p>バウムクーヘンの生地を作る。みんなで協力して混ぜる。</p> </div> </div>

実施状況
(授業風景)



竹に生地をかけて焼いていく。
「焦げないように回しながら焼こう。」
「今5回目だから、このバウムクーヘンは5歳だね。」



出来上がったバウムクーヘンを切り分ける。
「年輪はいくつできているかな」

記入者 小澤 雅子

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・バウムクーヘンが木を表しているお菓子だということが分かった。
- ・何回も生地をかけて焼いていくのは大変だったけれどおもしろかった。
- ・だんだんバウムクーヘンが大きくなっていくので、焼き上がるのが楽しかった。
- ・友だちと協力してできた。
- ・出来上がったバウムクーヘンはとてもおいしかった。

2 先生方の感想、要望等

- ・木を使った物作りを体験する機会がなかなかないので、名札作りで木に触れることができ、とても良い体験になりました。また、木の有効利用についても知ることができました。
- ・バウムクーヘン作りについては、「友だちと協力することが大切」ということを講師の方が教えてくださいました。やけどやけがをしないように声を掛け合ったり協力して生地をかけたり焼いたりすることを、実際に活動しながら身に付けていくことができました。
- ・出来上がったバウムクーヘンがとてもおいしく、子どもたちはとても満足していました。ありがとうございました。

平成25年度 松本市小中学校環境教育支援事業報告書 【番号：15】

授 業 名	木の事業とバウムクーヘン作り	
実施学校名	二子小学校	
実施学年、学級 参加人数	特別支援学級 ひまわり学級5名 あおぞら学級2名 計7名	
担当者	ひまわり学級担任 上松恵美子 あおぞら学級担任 加藤良知	
実施日（期間）	平成25年11月18日（月）	
協力団体名	寿さと山くらぶ	
実施概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 バウムクーヘンの作り方について、講師の先生より説明を受けた。 2 寿さと山くらぶの方の指導で、材料を混ぜ合わせバウムクーヘンを焼いた。 	
実施状況 (授業風景)	 <p>講師の先生より、内容の説明を受けています。</p>	 <p>材料を混ぜ合わせています。</p>
	 <p>熱いけど、頑張って焼いています。</p>	 <p>立派なバウムクーヘンができました！</p>

授業について	記 入 者	ひまわり学級担任 上松恵美子
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかよく作れてよかった。 ・卵を割るとき譲り合っできた。 ・卵を混ぜるのが楽しかった。 ・焼くとき声を掛け合いながらできた。 ・焼くとき熱かったけれど、がんばった。 ・なかよしの味がした。 ・甘くておいしかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なかよし」をテーマに取り組みせました。事前にどんな仲良しがあるか子どもたちと考えたところ「順番を守る」「ゆずる」「声をかける」が出ました。バームクーヘン作りの中にはしっかりそのことが入っていて、とてもよい活動になりました。高学年の児童が低学年の児童にやさしく声をかけたり、竹の棒を持つときに「1・2・3・4・5」と一緒に声を掛け合ったりする姿から、友だちと関わることのできるとてもよい学習だと思いました。ほかほかのバームクーヘンを味見する子どもたちの顔は満足そうでした。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備や片付けを講師の先生がやって下さいました。ありがとうございました。 	

授 業 名	木材の活用法
実施学校名	田川小学校
実施学年、学級 参加人数	6 学年 2 クラス 参加人数 5 9 名
担当者	6 年 1 組 担任 吉 嶋 哲 男
実施日（期間）	平成 2 5 年 1 2 月 2 4 日（火）
協力団体名	松本市林業士会
実施概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 用意していただいた木材の種類や材の性質について話を聞いた。（ヒノキ、エンジュ、白樺、赤松 等） 2 用意してきていただいた「木の実」についての話を聞いた。（松ぼっくり、各種杉の実 等） 3 丸太を自分で実際に切ってみる活動を楽しんだ。 4 切った丸太や用意していただいた木の実を用いて、木の種類による性質や色などが違うことを感じながら、木工工作を楽しんだ。
実施状況 (授業風景)	 <p>The photographs show a hands-on learning environment. In the top-left photo, two students in blue school uniforms are focused on cutting a log with a chainsaw. The top-right photo shows an instructor in a grey jacket and cap demonstrating a technique to a student. The bottom-left photo captures an instructor in a blue work uniform and cap working with a student at a workbench. The bottom-right photo is a close-up of a student's hands using a tool on a piece of wood on a workbench.</p>

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> ・木の持つ魅力を肌で感じ、イメージを持ちながら創造していくことがとても楽しそうだった。 ・2時間時間をとって制作したが、とても夢中に作業を行いあっという間の2時間だった。もっと製作したそうだった。 	
<p>授業について</p>	<p>記入者</p>	<p>吉嶋 哲男</p>
<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用意してきていただいたたくさんの材料を使って、自分の作りたい物を作ることができ、自分の作品に満足感をもっていた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの材木や木の実を持ってきていただき、いろいろな色や堅さの材・実があることを知ることができた。木の風合いや特徴をいかした作品の作り方を教えていただき、子どもたちにとって充実した学びの場となった。 		

授 業 名	緑のカーテン
実施学校名	梓川小学校
実施学年、学級 参加人数	6学年 5学級 147名
担当者	小口 英男
実施日（期間）	平成25年5月17日（金）
協力団体名	松本市緑化協会 株式会社奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気地球温暖化の現状についての説明（奥原造園さんより） ・ 緑のカーテンのための種まき作業
実施状況 (授業風景)	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 奥原造園さんによる地球温暖化についての説明 ・ 緑のカーテンが自然環境に与える効果についての説明がありましたが、子ども達が強く反応したのは、気球温暖化が進んでいる現状についての説明でした。地球温暖化がどんどん進んでいることを知り、何らかの対策が必要であることを感じたようでした。

実施状況
(授業風景)



朝顔の種まきの様子

- ・ 体育館での説明の後、全員で種まきを行いました。緑のカーテンとして大きく成長してくれることを願いながらの作業でした。

記入者

小口 英男

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・ 地球温暖化が進んでいることは何となく知っていた様子だったが、年代が進むごとにさらに温暖化が進んでいく画像に驚きを見せ、何らかの対策が必要であること、そのために少しでも緑のカーテンが役に立つならやってみようという気持ちを持った子供が多かった。

2 先生方の感想、要望等

- ・ 子ども達が環境問題について関心を持って、地球温暖化についてはできることをやっていかななくてはいけないという気持ちを持てたことはよかった。
- ・ 画像による具体的な説明がありよかった。準備もすべてやっていただきありがたかった。
- ・ 2階の教室には恩恵がほとんどなかった。もっと早く高く伸びればありがたい。

授 業 名	緑のカーテン設置授業
実施学校名	今井小学校
実施学年、学級 参加人数	1学年・2学年各1クラス 参加人数51名
担当者	1年担任 野村 文恵 2年担任 塩原 千史
実施日（期間）	平成25年5月22日（水）
協力団体名	松本市緑化協会 株式会社奥原造園
実施概要	<p>1 校舎南側に、ネットを設置していただき、アサガオの種をまき緑のカーテンづくりを行いました。</p> <p>2 地球温暖化防止の講義を受け、緑のカーテンについて学習しました。</p>
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>緑のカーテン、地球温暖化の話を聞いて、あさがおの種をまきました。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>教室が日陰になり、とても涼しくなりました。</p> </div>

授業について	記 入 者	野村 文恵
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「緑のカーテンって、何？」と緑のカーテンを知らなかった子が地球温暖化の話を熱心に聞いて興味を持ち始めることができました。 ・「早く芽がでるといいね。」「どうやってカーテンになるの。」と話したり、毎日観察をしたりして、植物の成長に関心を持って活動していました。 ・アサガオの前に作った畑の野菜と一緒に、毎日、当番が水やりをし、アサガオの成長を楽しみにしていました。 ・最後には、たくさんの種ができ、休み時間になると、自主的に袋に種を集めて大事そうにしている姿がありました。 ・アサガオといっしょにできたゴーヤ、ひょうたんもはじめのうちは「なんだろう？」と成長を楽しみにしていました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活科の学習として、あさがおやその他のつる植物に関心を持ち、育てる活動ができたことは良かったと思います。 ・緑のカーテンが涼しいことを体験し、窓の外に目をやるといつも緑が目に入ってきて、心がなごみ情操教育にもなりました。 ・担任一人では、支柱や網を設置するのがとても大変なので、設置や片付けをしていただき、ありがたかったです。是非来年度も継続してお願いしたいと思います。 	

平成25年度 松本市小中学校環境教育支援事業報告書 【番号：19】

授 業 名	緑のカーテン
実施学校名	開智小学校
実施学年、学級 参加人数	4年30人 5年29人 6年27人
担当者	小嶋千恵子（該当学年担任：小林英樹 五明佳代 宮入新太郎）
実施日（期間）	平成25年5月20日（月）～10月下旬
協力団体名	松本市緑化協会 株式会社奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンがなぜ必要なのか、地球温暖化の視点より、奥原造園の方からお話を聞く。（1） ・緑のカーテン作りの実際。（種のまき方、水の与え方、蔓の増やし方、肥料の与え方等） ・以後は各学級の世話によりカーテン作りを進めた。
実施状況 (授業風景)	 <p>緑のカーテン作りに参加する各学級が奥原造園の方より地球温暖化についてお話を聞く。</p>

実施状況
(授業風景)



土に肥料を混ぜ込み種まきを行った。水をまいたところにおよそ5センチ間隔で2粒ずつの種をまいた。

記入者 五明佳代

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・たくさん芽を出して、2階よりも上まで伸びてほしい。
- ・去年の緑のカーテンよりもたくさん葉を茂らしてほしい。
- ・地球温暖化があんなに進んでいるとは思わなかった。少しでも緑を増やして冷房をつけなくてもいいようにしたい。
- ・水をたくさんあげて緑のカーテンをちゃんとかけたい。

2 先生方の感想、要望等

- ・今年は大きな鉢から直接地面に植える方式もとってみた。しかし、まだ地面そのものに栄養が無かったのか、あまり葉が茂らなかった。
- ・他の種のアサガオと比べても葉と花の大きさが小さかったので大輪の花の種がほしい。
- ・このところの高温で、散水のためのホース等の整備もお願いしたい。(学校のものも用意したが、子どもが使うとすぐ壊れたり紛失したりするため)
- ・種をまくにあたって奥原造園の方に柵(網)を作っていただきありがたかった。

授 業 名	緑のカーテン
実施学校名	鎌田小学校
実施学年、学級 参加人数	1学年（5学級161名）・4学年（1学級34名） 特別支援学級（2学級15名）
担当者	山内三幸 平出葉子 勝俣静子
実施日（期間）	平成25年5月16日（木）
協力団体名	松本市緑化協会 株式会社奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・奥原造園さんから、グリーンカーテンについてのお話をお聞きし子どもたちは、暑い夏でも快適に過ごせることやその効果が省エネにつながることを学んだ。 ・グリーンカーテンとなる植物の育て方を教わり、指導していただきながら実際に種をまき、苗を植えた。
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p data-bbox="520 1413 956 1520">グリーンカーテンについてのお話を聞きました。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p data-bbox="1008 1413 1444 1520">花壇の世話 「かわいい幼虫がいたよ」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p data-bbox="520 1872 956 2027">大きく育った「みどりのカーテン」の前で「たくさんきれいなお花が咲いたよ」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p data-bbox="999 1872 1434 2027">アサガオのお花で色水づくり 「見て見て、とってもきれいだよ」</p> </div> </div>

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>青いアサガオの花をつんで、色水作りを楽しむ子もいました。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>こんなに広がりました。教室から見ると、すてきです。</p> </div> </div>	
<p>授業について</p>	<p>記入者</p>	<p>大久保 愛 平出 葉子</p>
<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>(1) たねまき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きれいなあさがおになってね」「種まき、楽しかったよ」「早く育ってほしいな」「奥原さんが知らないことを教えてくださいました」「奥原さんはすごいなと思いました」 <p>(2) 花が咲く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つるが長く伸びたな」「咲いてくれてありがとう」「あさがおさん、元気に育ってね」「水をいっぱいあげるよ」 <p>(3) お別れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あさがおさん、種とかお花を咲かせてくれてありがとう」「あと、切ってしまってください」「あさがおさんをはさみでちょん切るのがかわいそうでした」 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンカーテンの効果について、講師の奥原さんが紙芝居を使って分かりやすく、丁寧にご指導してくださいました。また、クラスに掲示用の資料もいただきました。子どもたちは、体験を通して、楽しく省エネや環境について学ぶことができました。この活動を通して、植物に愛着を持って大切に育てる姿がたくさん見られました。 ・教室の前にグリーンカーテンがあったので、日常的に花をつんだり、種を採取したりすることができた。毎日水をやる姿も見られた。アサガオやひょうたんの成長に関心をもつことができた。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の奥原さんには、アサガオだけでなく、キュウリやゴーヤの苗もいただきました。子どもたちは、アサガオの成長だけでなく野菜の収穫も楽しみにしながら、世話をすることができました。 ・奥原さんに支柱をたてていただいたり、ネットをかけていただいたりしました。種まきや水やりや種取りなど、子どもが活動しやすい環境を作っていただいていたことがたかかったです。 		

授 業 名	緑のカーテン
実施学校名	島内小学校
実施学年、学級 参加人数	1年4学級（112名）2年（124名）
担当者	乾ゆり他7名
実施日（期間）	平成25年5月27日（月）～12月下旬
協力団体名	松本市緑化協会 株式会社奥原造園
実施概要	<p>緑のカーテンの働きや善さについての講習 朝顔の種のまき方 朝顔の育て方他</p>
実施状況 (授業風景)	 <p>（5月27日）奥原造園さんによる緑のカーテンの働きや善さについての紹介場面。2年生は2度目であったので、「環境を守る」という部分も良く理解しながら熱心に聞いていた。</p>  <p>（5月27日）お話を聞いた後、クラスごとに教室の前の花壇に種まき。用意してもらった種を大事に手にとって、丁寧にまいていた。そして、この日から当番などを作って、水やりも開始。</p>



(7月) 満開になりつつある朝顔。日差しが遮られ始め、「涼しいね。」「影ができるね。」と子どもたち。「色水遊びもしたい!」と休み時間夢中になって花を摘み、できた色水を見せ合って楽しむ姿もあった。

(夏休み以降) 「先生、種を取ってもいい?」と子どもたち。家から入れ物を持ってきて、いっぱい集めて、「来年の春、家でまいてみるんだ。」「もう、何度もまいたから、まき方、ばっちりだもん。」と持ち帰る子も多くいた。

(12月) 後片付け。蔓をネットからはがすとき、「こんなに長く、こんなにくるくる巻いていたんだ。」と発見。1年生はこの蔓を使ってリース作りも行い、クリスマスに合わせ飾ることができた。

記入者

乾 ゆり

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・緑のカーテンは、環境にいいんだな。
- ・クーラー等で冷やすより、体にいいんだな。
- ・自分たちでまいた種だから、大きく育ててほしいな。
- ・水やりなど、ちゃんとしなくちゃいけないな。

2 先生方の感想、要望等

- ・2年生は、2年続けてこの事業に取り組むことで、その効果や良さをより実感することができてきた。
- ・緑のカーテンそのものの良さに加え、教室の目の前に自分たちの育てている植物があるということはよい。
- ・昨年度までは、1学年いくらという扱いで受けてもらっていたが、今年度から学級数分費用がかかるようになったため、来年度からは資金の面でたくさんのクラスが取り組むことは難しいかもしれない。

授 業 名	緑のカーテン
実施学校名	菅野小学校
実施学年、学級 参加人数	2学年（4学級）118名 1学年（4学級）114名
担当者	秦 光一 町田 恵美
実施日（期間）	平成25年5月14日（火） 平成25年11月15日（金）（ネット片づけ）
協力団体名	松本市緑化協会 株式会社奥原造園
実施概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 緑のカーテンの役割を知る。 2 あさがおの種まき、ひょうたん・ゴーヤなどの苗植えを行う。 3 交代で水やりなどの世話をする。 4 種を収穫し、つるをとってネットを片づける。
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>←緑のカーテンの役割を 聞いています（ミニ紙芝居）</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>↑種を植えています。</p>  </div> <div style="margin-top: 10px;">  <p>↑水をあげています。</p> </div> </div>

	記 入 者	秦 光一 町田 恵美
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等	
	<p>自分がまいた種の発芽や生長を楽しみにし、水やりもよくやっていた。生長すると花の数や色の違い、他の朝顔の違いを楽しみ、色作りやたたき染めを楽しみました。</p> <p>ベランダが日陰になるので、寝転んで涼をとる姿もありました。秋にはリースをつくって楽しみました。種もたくさんとって喜んでいました。</p>	
	2 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は2年生だけでしたが、今年度は1年生も共同で行った。大がかりな緑のカーテンを作ることができ、良い体験となりました。2年生棟の2階を茂らせるのは難しく思いました。 ・水は、くんですぐのものではなく、くみ置きのもをやるといいよと水やりのコツを教えていただき、造園のプロの方から育て方についていろいろ教えていただけるのはありがたく思いました。 ・教室がとても涼しくなったように感じました。また、景観も良く一服の清涼剤のようでした。 	
3 その他		
<ul style="list-style-type: none"> ・ネットを傷めてしまったので来年度は補修が必要です。また、竹も傷みがあり（裂けて手をはさむなど）、経年劣化も心配されるので新しく用意できる心づもりが必要かと思えます。 		

平成25年度 松本市小中学校環境教育支援事業報告書 【番号：23】

授 業 名	緑のカーテン
実施学校名	菅野中学校
実施学年、学級 参加人数	特別支援学級（アルプス学級）の1年（1名）2年（2名）3年（1名）計4名
担当者	山下 志津子 教諭
実施日（期間）	平成25年5月23日（木）
協力団体名	松本市緑化協会 株式会社奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・エコカーテンと省エネルギーの関係 ・あさがおの育て方（水やり・施肥のやり方）
実施状況 (授業風景)	<div data-bbox="705 1146 1166 1491" data-label="Image"> </div> <p>「あさがおの種をまきました。」</p> <div data-bbox="769 1608 992 1771" data-label="Image"> </div> <p>「芽が出たよ。」</p>

実施状況
(授業風景)



「私たちが育てた花壇と緑のカーテンです。」

記入者

井上 弘道

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・ 昨年自分たちで育てたあさがおの種をまくことができてうれしかった。
- ・ 奥原さんに教えていただいたように気持ちを込めて水や肥料をやることができてよかった。
- ・ 夏休みの水やりが足りなくて枯れてしまった部分もあって残念だった。もっとがんばりたい。

2 先生方の感想、要望等

- ・ 2年目ということもあり、液肥の希しゃくも自分たちでやって、育てることができました。
- ・ 土があまりよくなかったか、猛暑の影響か、昨年に比べて葉の繁り具合がもうひとつで、予定していた外とカーテンの内側の気温の観測ができず、残念でした。次回は土作りもしっかりと行いたいと考えています。

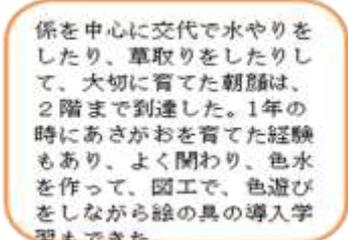
授 業 名	緑のカーテン
実施学校名	田川小学校
実施学年、学級 参加人数	1 学年 2 学級 参加人数 37 名
担当者	1 年 1 組担任 稲田 祐美
実施日（期間）	平成25年5月17日（金）
協力団体名	松本市緑化協会 株式会社奥原造園
実施概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 学年集会でグリーンカーテンの効用を教えてもらった。 2 各クラスのベランダにグリーンカーテンを作っていただき、アサガオとキュウリの苗を植えて育て、グリーンカーテンにした。
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>・グリーンカーテンを作ると、暑い夏でも日陰ができて涼しい風を感じることができること、クーラーと違って外気が暑くならないことを教えてもらった。</p> <p>・グリーンカーテンを作る元になるネットを張ってもらい、いただいた苗を植える際もコツを優しく教えていただき、子どもたちの期待が高まった。</p>

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<ul style="list-style-type: none"> アサガオは発芽がとても良く、途中で間引きした。1 度に 144 個花がついたりしてきれいだった。暑さのせいか、早く咲いて早く終わりになってしまった。屋根の一番上まで伸びたが葉はあまり大きくならなかった。  <ul style="list-style-type: none"> キュウリの苗をクラスに一本ずつ植えたので、実のなる様子を観察したり、暑い夏に食べて楽しんだりできた。キュウリ嫌いの子が、クラスのキュウリは食べることができた。キュウリは大きな葉が早く茂って良かったが、枯れるのもアサガオより早かった。 		
<p>授業について</p>	<table border="1" data-bbox="478 969 715 1043"> <tr> <td>記入者</td> <td>稲田 祐美</td> </tr> </table> <ol style="list-style-type: none"> 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 <ul style="list-style-type: none"> たくさん茂ったグリーンカーテンの写真をみて、これから作るグリーンカーテンのイメージがよくもてた。 こんな花が咲いたらいいな、と図工でグリーンカーテンの絵を描いたりして、楽しみにしながら水遣りなどの世話が出来た。 間引いた苗を家に持ち帰り、家でもグリーンカーテンを作った子がいた。グリーンカーテンの効用やアサガオの命についてよく理解できたからだと思う。 先生方の感想、要望等 <ul style="list-style-type: none"> 外部講師の方に意識付けをいただいたので、どのくらい大きくなるのかと期待が持ててよかった。 アサガオにつく虫について相談したところ、マリーゴールドと一緒に植えると幼虫がつかないと教えていただき、花壇の前面に植えてみた。幼虫の発生がなくて効果があったように思う。 その他 <ul style="list-style-type: none"> 風が来ても大丈夫なように、丈夫に作ってもらって良かった。 	記入者	稲田 祐美
記入者	稲田 祐美		

平成25年度 松本市小中学校環境教育支援事業報告書 【番号：25】

授 業 名	緑のカーテン
実施学校名	中山小学校
実施学年、学級 参加人数	2年生 21名
担当者	2年生担任 古旗 雅子
実施日（期間）	平成25年5月30日（木）～平成25年11月15日（金）
協力団体名	松本市緑化協会 株式会社奥原造園
実施概要	朝顔を育てグリーンカーテンを作ると、エアコンや扇風機を使わなくても部屋を涼しく保つことができ、環境にやさしいことを学んだ。
実施状況 (授業風景)	<div data-bbox="475 1077 1015 1480">  </div> <div data-bbox="1034 1144 1449 1451"> <p>朝顔を植える前に、グリーンカーテンの効果についてや朝顔の種類、まき方について説明を聞きました。環境クイズもあって、楽しく学習ができました。</p> </div> <div data-bbox="528 1503 884 1973">  </div> <div data-bbox="954 1585 1353 1839"> <p>種まきの様子です。講師の先生に教わった通りに、上手に種をまきました。「早く、大きくなったね。」</p> </div>

授業について	記 入 者	古旗 雅子
	<p>1. 活動を通しての子どもたちの反応・感想など</p> <ul style="list-style-type: none"> ○朝顔を作ってグリーンカーテンを作ると、部屋が涼しくなることがわかった。 ○グリーンカーテンを作ると、電気代がかからなくていいと思った。 ○家でもグリーンカーテンを作ってみたい。 ○朝顔にはたくさんの種類があることがわかった。 ○使わないコンセントはぬこうと思った。 ○使わない部屋の電気は消そうと思った。 ○葉っぱが大きくなって、グリーンカーテンができて、教室が少し涼しくなったと思う。 ○朝顔の花がたくさん咲いてとてもきれいだった。 <p>2. 教師の感想・要望</p> <p>講師の奥原さんには、グリーンカーテンの効果やエコな暮らし方について紙芝居を使って子どもたちにもわかりやすく説明いただき有り難かった。また、支柱やネット貼り、そしてネットの片付けも行ってお下さり、とても助かりました。</p> <p>種まきの時期が遅かったことが原因なのか若干小さめのカーテンになってしまったが、教室に入ってくる日差しを遮り、7月中旬から9月中旬まではカーテンの効果で快適に過ごすことができました。2年生の子どもたちもカーテンの良さを実感できたので、また自分の家や地域でグリーンカーテンを育てたり、エコな生活を実践したりしながら、環境にやさしい生活をしてほしいと思います。ありがとうございました。</p>	

授 業 名	緑のカーテン
実施学校名	波田小学校
実施学年、学級 参加人数	1年156名、2年138名、特別支援学級（まつかぜ）10名
担当者	名取 砂由美（2年）
実施日（期間）	平成25年5月15日（水）種まきの仕方・あさがおの世話の仕方 ～11月はじめまで
協力団体名	松本市緑化協会 株式会社奥原造園
実施概要	<p>1 あさがおで緑のカーテンを育て、暑い夏に電気をできるだけ使用しないエコ生活の良さを講師の話で学んだ。</p> <p>2 講師の方のご指導で、あさがおの種をまき、日々交代で水やりを行って、緑のカーテンを大切に育てた。</p>
実施状況 (授業風景)	<p>①5月15日（水）種まきの仕方・あさがおの世話の仕方を教わろう</p> <div data-bbox="512 1099 1434 1290" style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>奥原造園さんにきていただき、棚の準備をしていただいた。また、1年、2年、松風学級とそれぞれに、大型テレビにスライドを映し出して緑のカーテンの効用についての学習をしていただいた。電気を使ってエアコンや扇風機を使うことによって、地球上にCO2が増えてしまうことがわかった子どもたちである。自然を利用して、少しでも涼しい環境を作ることは、自分たちの環境を守ることにもつながることを知り、緑のカーテンをしっかりと育てて利用しようという意欲喚起にもつながった。</p> </div> <p>②「芽が出たよ」</p> <div data-bbox="507 1361 967 1621">  </div> <div data-bbox="999 1352 1347 1592">  </div> <div data-bbox="507 1644 935 1883">  </div> <div data-bbox="999 1592 1374 1877">  </div>

実施状況
(授業風景)



緑のカーテンの下にミニトマトの誕生。小さなメダカ池には、杉伊豆もきれいな花を咲かせ、子どもたちの憩いの場にもなりました。

夏休み中の水管理もうまくいき、緑のカーテンが見事に茂りました。1年生は、個々の一人一鉢とともに、緑のカーテンへの関心を持ってました。2年生は、昨年の経験を生かしながら、進んで種取りもするなどさらに関わりを深めることができました。まつかぜ（特別支援学級）の子どもたちもリース作りをするなど、緑のカーテンに親しみながらの活動ができました。

記入者 名取 砂由美 (2年)

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・「1年生のときよりあさがおがよく育った！」 (2年)
- ・「あさがおのカーテンの下ってすずしい〜！」
- ・「日なたよりうんとすずしい！」
- ・「緑のカーテンって、暑い夏にいいね。」

2 先生方の感想、要望等

- ・今年、記録に残る暑い夏本番、また残暑も厳しかったので、緑のカーテンの活動はエコにつながる実感の持てる活動となりました。
- ・棚作りからお手伝いいただき、大変助かりました。
- ・大型テレビを使って、イラスト入りのわかりやすい資料を活用しながら、緑のカーテンの効用や良さを伝えていただけました。低学年の子どもたちにも関心をもって聞くことができました。とても良い資料だなと思いました。

3 その他

- ・今年も棚の取り付けから棚の片付けもしていただき、本当に助かりました。是非、継続していただきたいです。
- ・ヘブンリーブルー（西洋朝顔）を5月のスタートにいただけると、11月まで朝顔を維持できたと思います。種まきの時期が遅くなってしまって、十分に育たなくて残念でした。

授 業 名	緑のカーテン
実施学校名	波田中学校
実施学年、学級 参加人数	生徒会 緑化委員会 参加人数36名
担当者	緑化委員会顧問 村上昌弘 藤沢麻貴
実施日（期間）	5月下旬～11月下旬
協力団体名	松本市緑化協会 株式会社奥原造園
実施概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 アサガオのつるを這わせるネットを設置してもらった。 2 草花を丈夫に育てる栽培管理を学んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・花壇づくり ・水やり ・肥料やり ・除草 ・後片付け
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>アサガオを植えるための花壇づくり</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>1年目にできあがった緑のカーテン</p> </div> </div>

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">委員による花壇の草むしり</div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">花壇と緑のカーテン</div> </div>	
<p>授業について</p>	<p>記入者</p>	<p>村上昌弘</p>
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今まで石だらけの通路のところに花壇を作るのはたいへんだった。つるはしを振り上げてもなかなか穴が掘れなかった。何回も振り上げ、石だらけの土を出し、腐葉土や畑の土を混ぜて花壇を作った。こんな苦勞をして作った花壇から葉でおおわれたアサガオのカーテンを見て本当に嬉しかった。 ○休み中の水くれは本当に大変だった。朝やっても昼にはもうかわいている。時には忘れてしまったこともあり花には悪いことをしてしまった。草花は自分で水を得ることができないので私たちがしっかりやらないといけないと思いました。 ○夏休み中の水やりがうまくできなかつたので1階部分の葉が少ししかつかなかつたが、休み明けからはしかりできたので2階部分は葉がしっかりついていいカーテンになった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○緑のカーテンづくりのポイントを教えてもらい、初めての事業でも設置の方法、管理の仕方がわかり迷うことなく取り組むことができた。しかし、実際の生育と併せた細かな管理は後手になったり、できなかつたりして十分な成果にはいたらなかつたことが残念だった。1年目の経験を次年度に活かしていきたい。 ○生徒会活動の中で、環境に関わつた授業ができなかつたが、次年度は栽培技術だけでなく、環境問題と関わらせた取り組みにしたい。 	

授 業 名	緑のカーテン
実施学校名	本郷小学校
実施学年、学級 参加人数	4年生 59名
担当者	和田 敦
実施日（期間）	平成25年6月3日（月）
協力団体名	松本市緑化協会 株式会社奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化の現状と今後予想される温暖化。 ・温暖化がもたらす地球への環境影響について。 地形への影響 動植物への影響 ・温暖化への対策としてできること。 エネルギーの省力化 ・緑のカーテンの効果と作り方。
実施状況 (授業風景)	 <p>スライドを見ながら、今後の地球の温度予想について説明を受ける。高温を示す赤色が地球全体を覆ったことが、子どもたちには大きな衝撃だったようだ。</p>

実施状況
(授業風景)



ゴーヤは1階の2年生の教室を越え、2階の4年生の教室の窓を覆うほどに成長した。夏の強い日差しをさえぎり、教室に緑の影に包まれていた。ゴーヤの果実も副産物として、みんなが分け合って家へ持ち帰り、料理してもらって食べた。

記入者 和田 敦

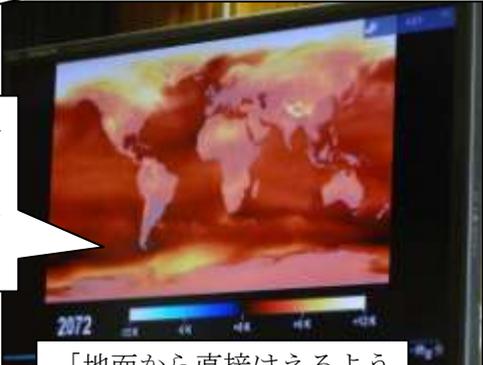
授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・本年度4年生は山火事跡に植樹をしたり、木曾へ森林学習に言ったりするなど、環境と緑について学ぶことを中核に学習してきた。緑のカーテンを作ることもその一環として取り入れた。それぞれの学習のたびに、緑を守り育てることが、自分たちの住む地域、ひいては地球にとって必要不可欠であることを、4年生なりの実感として捉えられてきていると思う。

2 先生方の感想、要望等

- ・学校だけでは、本年の「環境と緑について学ぶ学習」は進められなかったと思う。植樹体験にしても、緑のカーテンにしても、専門の方々によって、分かりやすいお話をいただいたり体験を指導していただいたりした支援が大変ありがたかった。

授 業 名	緑のカーテン
実施学校名	源池小学校
実施学年、学級 参加人数	4 学年（2 学級 51 名）
担当者	堀内 勝 上條 崇子
実施日（期間）	平成25年5月28日（火）：奥原造園さんによる授業 ～10月頃まで
協力団体名	松本市緑化協会 株式会社奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化・緑のカーテンの効果について映像を使い、奥原さんの講義をお聞きし、緑のカーテンによって快適に過ごせることや、その効果が省エネにつながることを学んだ。 ・緑のカーテンとなる植物（あさがお・ひょうたん）の育て方を教わり、指導していただきながら実際に種を蒔き、苗を植えた。 ・交代で水やりなどの世話をし、種を収穫し、つるをとってネットを片づけた。
実施状況 (授業風景)	 <p>「奥原先生、お願いします！」 「みなさんは、“地球温暖化”という言葉を知っていますか？」</p>  <p>「地球の気温の変化を、年を追ってみてみましょう。」 「2072年には、こんなにたかくなっちゃうんだ！」</p>  <p>「地面から直接はえるようにしましょう。」 「どのくらいの深さにまけばいいのかな？」 「同じ所に何粒もまいていいのかな？」</p>

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div data-bbox="497 147 1018 546"> </div> <div data-bbox="1070 147 1414 434"> <p>「栄養＝肥料もまかないといけないよね！」 「理科の時間でも種について勉強したから分かるよ！」 「大きく育ててね！」</p> </div> <div data-bbox="497 584 874 882"> <p>「水は毎日やらないといけないよね。」 「忘れちゃうと、枯れちゃうからね！」 「理科室の前がちょうど涼しくなるよ！」</p> </div> <div data-bbox="890 497 1414 907"> </div>		
<p>授業について</p>	<table border="1" data-bbox="497 954 1482 1032"> <tr> <td data-bbox="497 954 715 1032">記入者</td> <td data-bbox="715 954 1482 1032">堀内 勝</td> </tr> </table> <p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul data-bbox="523 1115 1437 1447" style="list-style-type: none"> ・地球の温暖化があんなに進んでいるなんてビックリした。なんとかしないといけないと思った。 ・あさがおやひょうたんが実ってよかった。 ・種をとったりつるをとったりするのは大変だった。 (ぐるぐるに巻きついている ひっぱっても取れない) ・講師の先生がとても優しく教えてくれてうれしかった。 ・水が足りなかったのか、栄養が少なかったのか、もっとたくさん茂るはずが、少なかったのが残念だった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul data-bbox="523 1529 1437 1939" style="list-style-type: none"> ・地球温暖化防止への効果については少し難しかったかもしれないが、植物を育てることによって涼しさがつくり出せるという新しい気づきが得られたことは、とても新鮮だった。 ・「水は、くんですぐのものではなく、くみ置きのをまく」など水やりのコツを教えていただき、造園のプロの方から育て方についていろいろ教えていただけるのはありがたいことだと思った。 ・地面から直接はやしたが、日当たりや水やり、栄養の関係からか、思ったようには茂らなかった。来年以降に生かしていきたい。 	記入者	堀内 勝
記入者	堀内 勝		

<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン</p>
<p>実施学校名</p>	<p>芳川小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>4年生4クラス 124名</p>
<p>担当者</p>	<p>高木秀昭</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成25年5月21日（火）</p>
<p>協力団体名</p>	<p>松本市緑化協会 株式会社奥原造園</p>
<p>実施概要</p>	<p>○奥原造園さんの講師による環境教育 ○理科「ヘチマの観察」 ○図工 絵画作品「ヘチマを持っている友達」制作</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%; text-align: right;"> <p>理科 ヘチマの生長の様子を観察する子どもたち</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%; text-align: left;"> <p>図工 ヘチマのスケッチをする子どもたち</p> </div> </div>

実施状況
(授業風景)



記入者 高木秀昭

授業について

- 1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等
 - 環境学習は少し難しかったようだが、自分たちがへちまを育てることで、少しでも地球温暖化を防ぐことになることを知り、驚いたようだった。
 - 理科では、へちまがぐんぐん伸びて大きくなっていく姿を観察・スケッチすることで、植物の生長のすごさを実感することができた。
 - 図工では、へちまの模様や色の違い、葉の形の違いなどまでよく見て細かいところまで気を遣いながら集中して制作に取り組む姿が見られた。
- 2 先生方の感想、要望等
 - 環境学習ではパワーポイントで地図やグラフを使い、児童が興味を引くように工夫して授業をしていただきありがたかった。ただ四年生にはやや難しい内容でもあった。
 - 緑のカーテンを作っていたいただいたおかげで理科・図工でのへちまの観察やスケッチなどがとてもやりやすく、ありがたかった。また普段なかなかできない環境教育にも目を向けるよい機会となった。

平成25年度
松本市 小中学校 環境教育支援事業
学習プログラム 一覧



平成 25 年度 松本市小中学校環境教育支援事業 学習プログラム一覧

番号	分類	講座名称	講師	直接申込の可否	頁番号
1	自然体験	自然を皆と一緒に考えるプログラム	NPO 法人信州松本山岳ガイド協会やまたみ	不可	61
2	自然体験	体感プログラムを中心とした自然体験学習	持続可能な松本平創造カンパニーわおん♪	可能	62
3	自然体験	自然と川を大好きになるプログラム	株式会社 アウトドアサポートシステム	可能	63
4	自然体験	体感プログラムを中心とした自然体験学習	トゥモロウ・リーディング倶楽部	不可	64
5	自然体験 環境知識	・ぬかくどご飯炊き体験 ・地域発見ウォーキング	NPO 安曇野ふるさとづくり応援団	不可	65
6	自然体験 環境知識	稲作体験（循環型農業体験）	いきものみつけファーム in 松本推進協議会	可能	66
7	自然体験 環境知識	自然観察からはじまる自然保護の実践	自然観察の会 ひこばえ	不可	67
8	自然体験 環境知識	水辺の生物の観察会	NPO 法人川の自然と文化研究所	可能	68
9	環境知識	・やさしい放射線の実験教室 ・大切なごみの分別 (炎色反応実験とダイオキシン類の話)	株式会社 環境技術センター	可能	69
10	環境知識	・竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり ・小水力発電機による自然エネルギー体験	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク (エコネットまつもと)	可能	70
11	環境知識 生活力	マイ箸づくり	^{かな} 寿 鮑の会	不可	71
12	生活力	裁縫作業指導（マイ箸収納袋制作）	松本市ボランティアセンター 松本市社会福祉協議会	不可	72
13	環境知識 生活力	・あかりのエコ教室 ・エコと太陽光発電教室	パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 松本営業所	可能	73
14	環境知識 生活力	生ごみ処理機を使用した堆肥作り	株式会社 キクイチ	不可	74
15	環境知識 生活力	リサイクル・リユースについてのワークショップ	フリマネット信州	可能	75
16	環境知識 生活力	木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	不可	76
17	環境知識 生活力	木材の活用法	松本市林業士会	不可	77
18	環境知識 生活力	緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	可能	78

- ・講師の選定、講座内容の作成に際して、一般社団法人長野県環境保全協会中信支部、松本商工会議所及び市民団体等の協力をいただいています。
- ・また、支援事業のコーディネートについて、中信地区環境教育ネットワークの協力をいただいています。

【分類：自然体験】

No. 1	講座名称	自然を皆と一緒に考えるプログラム (講座番号1)
支援事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ こども自然体験教室 ・ 自然観察会（自然全般・植物・野鳥・昆虫など） ・ 野生生物や生物多様性に関する学習 ・ 自然観察会、自然体験の指導 <p>美ヶ原、上高地、乗鞍高原、松本市アルプス公園など中信地区全域。（日程が合えば三城キャンプも対応可）</p> <p>プロジェクト・ワイルドのエducator資格者が、学校の希望テーマに沿ったプログラムを提供します。学校でテーマを決めていない場合は、「温暖化」「鹿の食害」など、現地の実態に即したテーマでプログラムを提供します。</p> <p>雨天の場合は屋内でプログラムを提供します。</p>	
	<p>対象学年（年齢） 小学生以上、学年に応じた授業内容を相談しながら内容決定</p>	
時間数	1回で2時間程度必要	
講師数	子ども10～15人に対して講師1名	
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎）	
必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談	
講師連絡先	<p>NPO 法人信州松本山岳ガイド協会 やまたみ</p> <p>TEL 0263-34-1543</p> <p>E-mail info@yamatami-com 担当 石塚聡実</p> <p>http://yamatami_com/</p>	
団体について	<p>2005年に設立された、長野県の山岳地帯を主に活動場所とするNPO団体です。信州の豊かな自然から人間と自然が共存する機能を理解し、そのあり方を考える事を目的としています。</p>	
開催概要	会田中学校にてプロジェクトワイルド実施（平成24年12月）	
申込み（直接申込不可）	<p>申込書を学校教育課指導室に提出してください。</p> <p>申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。</p> <p>（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）</p>	
問合せ	<p>学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ecoconet@gominetnagano.jp）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。</p> <p>（夕方5時以降）</p>	

【分類：自然体験】

No. 2	講座名称	体感プログラムを中心とした自然体験学習 (講座番号 2)
支援事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然を活用し、自然と触れ合う自然体験活動 ・自然の素材で作る簡単な工作 ・仲間と協力し仲良くなる活動 ・ネイチャーゲーム、身近な自然、自然を心と体で感じる自然体感 <p>(野外の活動を希望する場所があれば、そこで実施可能)</p>	
	対象学年 (年齢)	3歳～大人まで
時間数	2時間程度が目安 (半日～1日などの時間に応じたプログラム作りができます)	
必要な講師数	児童・生徒 20人に対して1人の講師 (安全確保の観点から、講師2名以上による実施を希望します)	
必要な費用について	講師謝礼 1人につき 5,000円 (授業1回分毎) 材料費等は別途 (内容により異なります)	
必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談	
講師 連絡先	持続可能な松本平創造カンパニーわおん♪ TEL 0263-87-3005 E-mail waon@ac.auone-net.jp 担当 山田直美 http://waon.naganoblog.jp/	
団体について	塩尻市を拠点に、自然体験活動を実施している、設立5年目になる任意団体です。小学生を対象にした年間の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出前講座を行っています。	
開催実績	学校の校庭でネイチャーゲームなどの自然体験活動 (会田小)	
申込み (直接申込可能)	直接講師 (上記連絡先) にお申込みください。 ※ 学校教育課指導室への申込書の提出も必要です。 必ず提出してください。	
問合せ	上記連絡先にお問合せください	

【分類：自然体験】

No. 3	講座名称	自然と川を大好きになるプログラム (講座番号3)
支援事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・梓川リバートレッキング (川の安全講習会付) ・乗鞍岳 (高原)、上高地ネイチャートレッキング (学校登山もご用命下さい) ・乗鞍高原スノーシュートレッキング、善五郎の滝氷瀑編 	
対象学年 (年齢)	小学校3年生以上	
時間数	2～3時間 (1日の場合は6時間程度)	
講師数	子ども20人に対して講師2名	
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円 (授業1回分毎) 機材レンタル 300～1,000円 保険料 31円～300円	
必要な準備	<p>「山編」 弁当、水筒、動きやすい服装・靴、帽子など</p> <p>「川編」 水着、弁当、水筒、帽子、水に濡れてもよい靴など</p>	
講師連絡先	<p>(株) アウトドアサポートシステム</p> <p>TEL 0263-93-1243</p> <p>E-mail mine@odss.co.jp 担当 小峰邦良</p> <p>http://www.odss-norikura.jp/</p>	
団体について	<p>25年に渡り、岐阜・長野・四国を中心に日本のアウトドアシーンをサポートし続けています。松本支社では乗鞍、上高地の春夏秋冬の魅力を引き出すツアーおよびプログラム作成運営に着手。梓川流域の自然、人、文化を繋ぐことを目標に奮闘中。さまざまなアウトドアツアー・イベントを開催しています。詳しくはHP閲覧、及び直接ご質問ください。</p>	
開催実績	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県学習旅行誘致推進協議会主催、サマー・スノーキャンプ in 信州 ・日本旅行トムソーヤクラブ主催、乗鞍雪遊学校 ・あずさ・水と暮らしの楽校協議会連携事業、梓川大河一滴プロジェクト 	
申込み (直接申込可能)	<p>直接講師 (上記連絡先) にお申込みください。</p> <p>※ 学校教育課指導室への申込書の提出も必要です。</p> <p>必ず提出してください。</p>	
問合せ	上記連絡先にお問合せください	

【分類：自然体験】

No. 4	講座名称	体感プログラムを中心とした自然体験学習 (講座番号 4)
支援事業内容	<p>専門知識を有する指導者（CONE リーダー、文部科学省認定自然体験活動全体指導者）がさまざまな自然体験学習を提供します。 「火起こし教室～ハリギリ式、新聞を使わない方法、火の育て方等」「燻製教室、保存食の知恵（校内可）」「野生生物について学ぶ～プロジェクトワイルド（体験型授業）」「地域防災・ロープワーク（現職の消防士さんのワークショップ）」「木の実・木の葉当てクイズ（校内）」「限界集落を訪ねる～地域の課題を考えよう（移動あり）」「梓川クリーンナップラフティング（別料金）」 多様なメニュー、人材がいます。まずはご相談ください。</p> 	
対象学年（年齢）	1～2年生：燻製教室、プロジェクトワイルド、ネイチャーゲーム 3年生以上：上記含む提示したすべてのプログラム	
時間数	基本的に2時間分程度（80～90分）必要 ※移動時間含まず 内容により、半日程度	
講師数	児童・生徒30人に対して2～4人の講師	
費用	講師謝礼 1人につき5,000円 材料費等は別途（内容により異なります）	
必要な準備	プログラムの用具は一部準備しますが、まずは相談させてください。材料（消耗品）は学校（または児童・生徒）で用意していただくこともあります。安全のため児童・生徒に事前に持ち物・服装を案内します（雨具・軍手など）	
講師からの持込資料等	火起こし用具のセット、燻製用具のセット、教本・教材、等。	
講師連絡先	トゥモロウ・リーディング倶楽部（TLC） 〒390-1295 松本市新村 2095-1 松本大学中澤研究室内 TEL 0263-48-7233 E-mail tomoyo.nakazawa@matsu.ac.jp 担当 中澤朋代	
講師について	自然体験活動の指導者として23時間程度にわたる指導者養成講習会を終えたメンバー（受講生、事務局、講師）のネットワークで、2010年4月より毎月集まり、地域情報を交換し、実際の活動に繋がっています。（この講習は学校支援のテーマで文部科学省から自然体験活動推進協議会が受託、松本大学で実施されました）	
申込み（直接申込不可）	申込書を学校教育課指導室に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 （実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）	
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ecoconet@gominetnagano.jp）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 （夕方5時以降）	

【分類：自然体験、環境知識】

No. 5	講座名称	1 むかくどご飯炊き体験 2 地域発見ウォーキング (講座番号5)
支援事業内容	<p>1 むかくどご飯の炊き出し・試食 昔ながらの「むかくど釜」でご飯を炊き、美味しいお米を味わってもらいます。「むかくど釜」は、昭和初期に農家で使用されていた「ぬか」＝「もみ殻」を使った釜で、紙芝居にて概要を説明します。 ※3釜持参可能（おにぎり約70個/釜） （子ども30人に対し、2人の講師）</p> <p>2 地域発見ウォーキング 安曇野市内の屋敷林、拾ヶ堰、道祖神等の原風景が残る地域を、クイズ等を楽しみながら案内します。 （子ども30人に対し、2人の講師）</p>	 
対象学年（年齢）	小学校3年生以上	
時間数	2時間分程度必要	
講師人数	上記事業内容内に記載	
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分） その他 お米代、資料代等 必要	
必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談	
講師連絡先	NPO 安曇野ふるさとづくり応援団 TEL 0263-81-1325 E-mail lifeport@nifty.com 担当 宮崎崇徳 http://npo-furusato.way-nifty.com/azumino/	
講師について	平成18年に設立したNPO法人信州ふるさとづくり応援団安曇野支部を母体とし、平成25年3月の組織分割により現団体名となりました。地域の自然、歴史、文化を学びながら歩く「ふるさとウォッチング」を安曇野市内で開催しています。	
開催実績	<ul style="list-style-type: none"> ・むかくどご飯炊き体験（菅野小、会田中） ・地域発見ウォーキング（穂高北小） 	
申込み（直接申込不可）	申込書を学校教育課指導室に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 （実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）	
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ ecoeconet@gominetnagano.jp ）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 （夕方5時以降）	

【分類：自然体験、環境知識】

No. 6	講座名称	稲作体験（循環型農業体験） いきものみつけファーム (講座番号6)
支援事業内容	<p>年間を通じてお米の肌ヌカ（米の精）を使用した農法の実演と体験により、土壌を豊かにする健康な作物づくりと生きものあふれる農地づくりを行い、その場所を環境学習に使用します。</p> <p>学校の田んぼ、畑で実施します。</p>	
対象学年（年齢）	小学校3年生以上	
時間数	1回の授業に90分程度必要	
講師人数	児童・生徒30人に対して2人の講師	
費用	講師謝礼 無料	
必要な準備	畑・田んぼ等のフィールド 苗・種、農業用道具、パソコン（事前の打合せを通じて別途相談）	
講師からの持込資料等	米の精（肥料） 簡単な循環型農業に関する資料	
講師連絡先	いきものみつけファーム in 松本推進協議会 事務局 住所 〒399-0011 松本市寿北 9-7-7 株式会社 中島屋降旗米穀 TEL 0263-50-5822 E-mail sakamaki@nakajimaya.co.jp 担当 坂楨	
講師について	有機循環型農業を地域で実現するために発足した、産・官・学・民協働の協議会です。 （構成団体：公益財団法人日本環境協会、松本大学、農業法人鉢伏ファーム、東洋ライス(株)、(株)サンワイズ、(株)中島屋降旗米穀、(株)環境アセスメント、NPO 法人えんどっこ、松本市）	
開催実績	いきものみつけファーム in 松本 （寿地区の田んぼで通年開催、市内全域から参加あり）	
申込み（直接申込可能）	直接講師（上記連絡先）にお申込みください。 ※ 学校教育課指導室への申込書の提出も必要です。 必ず提出してください。	
問合せ	上記連絡先にお問合せください	

【分類：自然体験、環境知識】

No. 7	講座名称	自然観察からはじまる自然保護の実践 (講座番号7)
支援事業内容	<p>身近な自然観察（季節を楽しみながら）を指導します 「校庭で自然観察会（五感で感じる、自然と人や、動物と植物のつながりなどを学ぶ）」「教室で自然を学ぶ（フィールドの落とし物、紙芝居、本（絵本）などで学ぶ）」「水辺（小川）の自然観察」「まちなかの自然観察」</p> 	
対象学年（年齢）	小学生以上、学年に応じた授業内容を相談しながら内容決定	
時間数	1回で2時間程度必要	
講師数	子ども15人に対して講師1名（先生と協力して1クラス程度まで）	
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎）	
必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談	
講師連絡先	自然観察の会 ひこばえ TEL・FAX 0263-26-1573 担当 村上さよ子	
講師について	1996年、自然大好きな仲間と会をつくる。「自然観察から始まる自然保護」の実践を目ざして、自然観察会やフィールドでのボランティア活動などを行う。	
開催実績	<ul style="list-style-type: none"> 校庭の自然観察—波田小学校3年4組 保育園、中学校の遠足や修学旅行のガイドウォーク 	
申込み (直接申込不可)	<p>申込書を学校教育課指導室に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 (実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います)</p>	
問合せ	<p>学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ecoeconet@gominetnagano.jp）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 (夕方5時以降)</p>	

【分類：自然体験、環境知識】

No. 8	講座名称	水辺の生物の観察会 (講座番号 8)
支援事業内容	<p>水辺の生物の観察会 水路・ビオトープ・学校プールなどにおける水生生物や植物の観察会を行います。</p> <p>【これまでに実施した学習会のテーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の川と水への意識 ・アルプスの水がもたらす恵みと課題 ・里地・里山の森と暮らしと水 ・千曲川水系における水生昆虫類の個体群構造と遺伝的構造 ・松本、伊那盆地におけるトノサマガエル・ダルマガエルの分布と交雑について ・河川繁殖する鳥類への増水の影響と役割 ・トンボ類からみた日本と台湾の繋がり ・父親が子育てをするコオイムシ科昆虫の繁殖生態と系統進化・種分化について ・安曇野の魚と人とのかかわり 	
対象学年（年齢）	小学校3年生以上（学年に合わせた授業を行います）	
講師数	子ども30人に講師1～2名	
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 材料費 開催内容による（事前の相談で決定）	
必要な準備 学校で準備するもの	網、内面が白色のプラスチック皿、ピンセット 虫めがね（10～20倍）、バケツ、ノート（スケッチ用紙）	
講師 連絡先	川の自然と文化研究所（NPO） TEL 0263-72-3768 E-mail tyoshid2002@yahoo.co.jp 担当 吉田利男	
講師について	身近な川を調べ、地域文化との関係や生物のすみかとしての環境を考え、今後の川の姿に関して情報発信するNPO法人です。	
開催実績	校内の川や池に住む生物を観察しよう（平成24年度 島内小）	
申込み （直接申込不可）	直接講師（上記連絡先）にお申込みください。 ※ 学校教育課指導室への申込書の提出も必要です。 必ず提出してください。	
問合せ	上記連絡先にお問合せください	

【分類：環境知識】

No. 9	講座名称	<p>1 やさしい放射線の実験教室 2 大切なごみの分別（炎色反応実験とダイオキシン類の話） （講座番号9）</p>
支援事業内容	<p>事業内容</p> <p>1 やさしい放射線の実験教室 放射線は自然に存在し、正しい管理のもとで利用されることで人の役に立つこと、また、原子力発電所事故を受けて、これからのエネルギーについて考えるきっかけになればと思います。普段目に見えない放射線の飛んだ軌跡を簡単に観察でき、簡単な測定器を使って外の放射線量やその場の放射線量を測定します。（児童・生徒40人に対して2人の講師）</p> <p>2 大切なごみの分別（塩素と銅の炎色反応の実験） プラスチックごみなどの実験です。 ここ十数年、ごみ焼却によって「ダイオキシン」という有害な物質が発生することが問題になっています。ダイオキシンって何？をやさしく勉強します。ごみを分別して有害物が環境に無造作に出ないようにすることを学びます。同時に、金属特有の炎色反応実験をします。（児童・生徒40人に対して2人の講師、燃焼実験を行うため、お手伝いいただける方が2名ほど必要です）</p>	
対象学年（年齢）	<p>1 やさしい放射線の実験教室 小学校1年生～ 2 大切なごみの分別 小学校3年生～</p>	
時間数	どちらも2～3時間程度	
講師数	上記事業内容に記載	
費用	<p>講師謝礼 1人につき5,000円（授業1回分毎） 材料費 300円/人</p>	
必要な準備	<p>2 大切なごみの分別 暗くできる部屋（色が観察できるので） 身近なプラスチック製品（燃焼実験用）</p>	
講師連絡先	<p>株式会社 環境技術センター TEL 0263-27-1606 E-mail miyazawa.m@kgcenter.co.jp 担当 宮澤恵美 http://www.kgc-minnanolab.com/</p>	
講師について	<p>松本市内で37年間、環境分析を行ってきている会社です。環境問題がクローズアップされる昨今、理科実験と環境問題を組み合わせ、難しくとらえられがちな化学物質などを、わかりやすく解説したいと考えています。</p>	
開催実績	やさしい放射線実験教室（会田中）	
申込み（直接申込可能）	<p>直接講師（上記連絡先）にお申込みください。 ※ 学校教育課指導室への申込書の提出も必要です。 必ず提出してください。</p>	
問合せ	上記連絡先にお問合せください	



【分類：環境知識】

No. 10	講座名称	<p>1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり 2 小水力発電機による自然エネルギー体験学習 (講座番号10)</p>
支援事業内容	<p>1 竹筒を自分たちで加工（切る、穴あけ）して、ガラス玉などで装飾し、蜜蝋を使ったキャンドル（大きさ 50cm 程度）を作ります。作ったキャンドルはキャンドルナイトイベント（6月：松本市美術館、12月：松本駅前）で大々的に飾り、イベントに華を添えていただきます。</p> <p>2 可搬式の小水力発電機を使って、実際の水力発電の仕組みを体験して学びます。</p>	 
対象学年（年齢）	小学校高学年～中学生	
時間数	<p>1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり 2～3時間程度 2 小水力発電機による自然エネルギー体験学習 1時間程度</p>	
講師数	子ども 30 人に講師 2～3 名	
費用	<p>講師謝礼 講師 1 名に 5,000 円（授業 1 回分毎） その他材料等については別途相談</p>	
必要な準備	<p>1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり ・実施場所として工作室</p> <p>2 小水力発電機による自然エネルギー体験学習 ・校内の流水（落差）がある箇所</p>	
講師持参物品	<p>1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり ・電動ドリル、鋸、ホットボンド等の工具類 ・ガラス玉、ビー玉等の装飾物</p> <p>2 小水力発電機による自然エネルギー体験学習 ・可搬式小水力発電機</p>	
講師連絡先	<p>松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと） TEL・FAX 0263-57-5460 E-mail kichan007@nifty.com 担当 鈴木喜一郎</p>	
講師について	<p>市内 10 団体で構成するネットワークです。それぞれの環境保全活動の持ち味を活かし、「キャンドルナイトまつもと（6月、12月）」「打ち水大作戦（8月）」等の活動を行っています。</p>	
開催実績	<p>竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり （松本市美術館ワークショップ、信大附属中、島立小）</p>	
申込み（直接申込可能）	<p>直接講師（上記連絡先）にお申込みください。 ※ 学校教育課指導室への申込書の提出も必要です。 必ず提出してください。</p>	
問合せ	上記連絡先にお問合せください	

No. 1 1	講座名称	マイ箸づくり (講座番号 1 1)
支援事業内容	<p>自分で鉋、鋸<small>かんなのこぎり</small>を使ってヒノキの端材から自分だけの箸を作ります。</p> <p>材木に関する基本的な知識についても学習し、モノを大切にする気持ちも養います。</p>	
対象学年 (年齢)	小学生以上、学年に応じた授業内容を相談しながら内容決定	
時間数	2時間～3時間必要	
講師数	子ども 10 人に対して講師 1 名	
費用	講師謝礼 講師 1 名に 5,000 円 (授業 1 回分毎) 材料代 1 人 300 円	
授業までに必要な準備	鉋、鋸 その他、申込時・事前の打合せを通じて別途相談作業に適した会場 (工作室等)	
講師持込資材	工作台 (机上に設置)、肥後ナイフ、鉋	
講師連絡先	寿鉋の会 TEL 090-1828-5282 鬼頭朝雄	
講師について	毎週金曜日に寿福祉ひろばで刃物のとぎ方や日曜大工などを行っています。長年に渡り家具作り等に携わっていた職人たちが講師を務めています。	
開催実績	マイ箸づくり教室 (会田小、菅野小、二子小、高綱中)	
申込み (直接申込不可)	申込書を学校教育課指導室に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 (実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います)	
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール (ecoeconet@gominetnagano.jp) でお問い合わせください。2～3 日中に電話またはメールでご連絡します。 (夕方 5 時以降)	

【分類：生活力】

No. 1 2	講座名称	裁縫作業指導（マイ箸収納用袋の制作指導） (講座番号 1 2)
支援事業内容	<p>マイ箸収納用袋の制作指導 マイ箸づくりで作った箸を収納するための袋を自作する際の指導講習を行います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
	対象学年（年齢）	小学校以上
時間数	2 時間程度必要	
講師数	子ども 10 人に講師 1 名	
費用	講師謝礼 講師 1 名に 5,000 円（授業 1 回分毎） 材料費 制作内容によるため別途相談	
必要な準備	裁縫セット、布等の材料	
講師持参物品	布等の材料	
講師連絡先	<p>松本市ボランティアセンター（松本市社会福祉協議会内） TEL 0263-25-7311 FAX 0263-27-2239 E-mail vol@syakyo.matsumoto.or.jp 担当 中村ひとみ</p>	
講師について	市内の地域ボランティア部会メンバーが、箸袋を自作する際の指導を行います。	
開催実績	マイ箸・箸入れづくり（二子小、高綱中）	
申込み (直接申込不可)	<p>申込書を学校教育課指導室に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 (実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います)</p>	
問合せ	<p>学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ecoeconet@gominetnagano.jp）でお問い合わせください。2～3 日中に電話またはメールでご連絡します。 (夕方 5 時以降)</p>	

【分類：環境知識、生活力】

No. 13	講座名称	1 あかりのエコ教室 2 エコと太陽光発電教室 (講座番号13)
支援事業内容	<p>地球温暖化による環境変化、地球温暖化防止に効果のある家電製品の省エネルギー化等について学習します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LEDを使った最近の照明器具が、熱を発生させずに効率のいいものなのか、照明器具を実際に触って比較する学習等を行います。 ・地球に優しい太陽光発電の仕組みを学ぶ。実験を通じ、太陽光発電の特徴（長所、短所）に気づき、考え、発表します。 	
対象学年（年齢）	1 あかりのエコ教室 小学校4～6年生 2 エコと太陽光発電教室 小学校5～6年生	
時間数	90分（2時限）	
講師数	子ども25～30人に講師1名（補助2名）	
費用	無料	
必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> ・実施場所として理科教室 ・スクリーンまたは大型テレビ ・黒板またはホワイトボード 	
講師持参物品	<ul style="list-style-type: none"> ・実験道具（4～5人で1台） ※あかりのエコ教室では測定機器、手回し発電機	
講師連絡先	パナソニック(株)エコソリューションズ社 松本営業所 TEL 0263-27-4501 E-mail kasahara.m@jp.panasonic.com 担当 笠原正晴 http://panasonic.co.jp/es/	
開催実績	家電製品の省エネ学習（清水小、会田中）	
申込み（直接申込可能）	直接講師（上記連絡先）にお申込みください。 ※ 学校教育課指導室への申込書の提出も必要です。必ず提出してください。	
問合せ	上記連絡先にお問合せください	



【分類：環境知識、生活力】

No. 1 4	講座名称	生ごみ処理機を使用した堆肥作り (講座番号 1 4)
支援事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機を使用した堆肥作りの講師を派遣し、指導等を行い、資源循環やバイオ（微生物の働き）について学んでいただきます。小型の生ごみ処理機をクラス単位・学年単位で貸し出すことが可能です。 ・処理機の使用方法や堆肥ができるまでの指導支援を行います。 ・完成した堆肥の使い方も指導します。（1サイクル概ね3カ月で、できた1次堆肥を回収し、当社で2次堆肥に発酵させるため、臭いはあまり発生しません。県内の学校、保育園でも使用されています。） 	
対象学年（年齢）	小学校高学年以上	
必要な時間数	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみを投入する回の授業として、60～90分程度 ・その後、機械で堆肥にする期間＝約3ヶ月、キクイチで熟成堆肥にする期間＝約1ヶ月の合計4ヶ月で1サイクル 	
必要な講師数	機械1台あたり児童約40人（講師1名）	
必要な費用	講師料は無料 材料費（機器管理等を含む）が15,000円	
授業までに必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談 実施時には生ごみ（野菜くず等）が必要	
講師持参物品	事前に生ごみ処理機を設置します （幅150cm×高120cm 要AC100V電源）	
講師連絡先	株式会社キクイチ TEL 0263-92-5141 E-Mail kikuichi@go.tvm.ne.jp 担当 百瀬潔	
開催実績	・生ごみ処理機を使用した堆肥作り（鎌田小、中山小）	
申込み（直接申込不可）	申込書を学校教育課指導室に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 （実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）	
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ecoconet@gominetnagano.jp）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 （夕方5時以降）	

【分類：環境知識、生活力】

No. 15	講座名称	リサイクル・リユースについてのワークショップ（講座番号15）
	支援事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童や家族が使わなくなったり、着られなくなったものをリメイクしたり再利用したりするワークショップ ・環境の3Rについて小学生から中学生まで、学んでもらい、児童向けの市環境書籍紹介なども交えて、リサイクルやリユースの実情について学ぶ。 ・団体に支援しているアジアのカンボジアやフィリピンの小学生や児童の様子について映像などで学び、ものを大切にすることについて学びながら、先進国の子供として、未来の環境負荷を軽減することの大切さについて気付いてもらう。不要になった文房具などを家庭や友人などに呼び掛けて、集め、実際に梱包して発送するまでを体験する。
	対象学年（年齢）	小学校高学年～中学生
	時間数	座学に1時間、制作などの作業に1時間の計2時間（連続可）
	講師数	子ども30人に講師1～3名
	費用	<p>講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） その他経費（材料費等、必要物品）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料作成の印刷代、講師の交通費実費など ・平面コラージュなどを行う場合には画用紙など。 ・グループワーク用には模造紙と付箋など
	必要な準備	DVD視聴用の視聴覚設備、裁縫道具、鋏、糊など
	講師持参物品	視聴用映像ソフト、参考図書、写真、材料など
	講師連絡先	<p>フリマネット信州 TEL 090-9664 - 5510 FAX 0263 -88 - 5012 E-mail firmanet@yahoo.co.jp http://furimanet.com/ 担当 立石恵子</p>
	講師について	平成14年発足。生活者自身がリユース、市民交流、福祉支援、まちの賑わいづくりを4つの趣意として、消費者のリユースフリーマーケット活動、リユースで回収した物品で海外の児童教育支援をする活動、福祉活動やボランティア活動、市民活動などの企画や工法の支援も行っています。
	開催実績	<ul style="list-style-type: none"> ・源池学童クラブにて、小学生と複数回、アジアの子供たちの実情を映像で学んだあとで学習楽器や文房具をメンテナンスして箱詰めし、手紙を書いて現地に送る活動を行った。 ・夏休みに保護者と小学生が、リユースを体験するリサイクルフリーマーケット参加、日常生活で二酸化炭素を減らすやり方について学んだ。
	申込み（直接申込可能）	<p>直接講師（上記連絡先）にお申込みください。 ※ 学校教育課指導室への申込書の提出も必要です。 必ず提出してください。</p>
	問合せ	上記連絡先にお問合せください

【分類：環境知識、生活力】

No. 16	講座名称	木の授業とバウムクーヘン作り (講座番号16)
支援事業内容	<p>竹や廃材などを活用して行う野外活動です。 木の年輪などの話をしてから、炭火を使って材料からバウムクーヘンを作ります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
対象学年（年齢）	小学校4年生以上	
時間数	2時間程度	
講師数	子ども10人に講師1名	
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 材料費 4,000円/約10人分	
必要な準備	長机数台	
講師持参物品	レシピ等の資料、竹の棒などの資材、材料一式	
講師連絡先	寿さと山くらぶ TEL・FAX 0263-57-5460 E-mail kichan007@nifty.com 担当 鈴木喜一郎	
講師について	平成13年に設立し、寿地区の財産区有林の整備作業と地域の学校での環境教育などを実施しています。昨年度の会員数65名。	
開催実績	木の授業とバウムクーヘン作り（鎌田小、二子小、会田中）	
申込み (直接申込不可)	申込書を学校教育課指導室に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 （実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）	
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ ecoeconet@gominetnagano.jp ）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 （夕方5時以降）	

【分類：環境知識、生活力】

No. 17	講座名称	木材の活用法 (講座番号17)
支援事業内容	<p>間伐による里山の保全、間伐材の活用について学習しながら、木工工作を行います。木の持つ魅力や種類の違いなどを五感で感じて、自ら創造する活動です。 また、山林での森林整備体験なども行います（応相談）</p> 	
対象学年（年齢）	小学校4年生以上	
時間数	2時間程度	
講師数	子ども6～8人に講師1名	
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 材料費 開催内容による（事前の相談で決定）	
必要な準備	木工教室の場合、木工室等の会場	
講師持参物品	木工に必要な木材と機材一式	
講師連絡先	松本市林業士会 TEL・FAX 0263-57-5460 E-mail kichan007@nifty.com 担当 鈴木喜一郎	
講師について	松本市内の現役林業士約20名で組織しています。それぞれが木と森のスペシャリストとして、市内各行事、地域イベント等にも参加しています。	
開催実績	木材の活用法（田川小、鎌田小）	
申込み （直接申込不可）	申込書を学校教育課指導室に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 （実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）	
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ecoconet@gominetnagano.jp）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 （夕方5時以降）	

【分類：環境知識、生活力】

No. 18	講座名称	緑のカーテン設置指導 (講座番号18)
支援事業内容	<p>緑のカーテン設置補助</p> <p>低学年、紙芝居又はパワーポイントでカーテン設置の意味や効果、種の植え方後の管理方法を解説します。(1時限)</p> <p>高学年、中学生、希望によりますが、パワーポイントで地球温暖化の現状や将来を解説し、問題の意識付けをします。そのうえで、緑のカーテンの効用や維持管理の方法を解説します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>	
対象学年(年齢)	小学校以上(学年に合わせた授業を行います)	
時間数	小学校低学年=1時限、小学校高学年以上=2時限(応相談)	
講師数	子ども120人に講師1名	
費用	<p>講師謝礼 講師1名に5,000円(授業1回分毎)</p> <p>材料費 開催内容による(事前の相談で決定)</p>	
必要な準備	<p>設置場所の確保、耕し、施肥</p> <p>※ 可能な限り地植えを推奨します。</p> <p>プランターでは生育不足となり、期待する効果が得られません。</p> <p>※ 夏休み前までの生育を促すために、5月中の実施を推奨します。</p>	
講師持参物品	<ul style="list-style-type: none"> ・種子、苗 ・紙芝居、パワーポイントによる温暖化防止学習資料 ・ネット、竹枠 <p>※ ネット張り作業は事前に行います(別日程で行います)</p>	
講師連絡先	<p>松本市緑化協会</p> <p>TEL 0263-48-3100</p> <p>E-mail oku-zou@avis.ne.jp (株)奥原造園 奥原正司</p>	
講師について	松本市内で造園業を営む17業者の集まりです。緑化工事・維持管理を中心に、地域の環境保全を目指しています	
開催実績	緑のカーテン設置補助 23年度=9校、24年度=15校	
申込み (直接申込不可)	<p>直接講師(上記連絡先)にお申込みください。</p> <p>※ 学校教育課指導室への申込書の提出も必要です。</p> <p>必ず提出してください。</p>	
問合せ	上記連絡先にお問合せください	

【附録】松本市環境政策課からのお知らせ

1 全国ネットワーク「こどもエコクラブ」への参加協力について

環境省事業として平成7年度に発足した「こどもエコクラブ」は、年会費・登録料無料の全国ネットワークです。登録すると、子ども向け環境記録シートや環境情報等をまとめたメールマガジンが無料で提供されるなどの特典があります。登録は1名から、クラブ・学級単位での参加も可能です。下のリンクをご参照いただき、登録にご協力いただくようお願いします。登録していただける場合は、環境政策課担当までご連絡ください。

※ はじめようこどもエコクラブ

<http://www.j-ecoclub.jp/guide/index.html>

※ 平成25年12月2日現在 登録クラブ数1,938、メンバー数97,308人

※ 現在は財団法人日本環境協会が事業を引き継ぎ、実施しています。



2 食品ロス削減国民運動「NO-FOODLOSS プロジェクト」 ロゴマーク「ろすのん」について



「ろすのん」ってなに？

- ・真ん中の●は、お皿をイメージ（食品ロス問題を訴える）
- ・下の二本線「=」は、お箸をイメージ
- ・右目の涙は「もったいない」感情を表現

わが国では、本来食べられるのに廃棄されている「食品ロス」が年間500～800万トン発生しています。「もったいない」という言葉の発祥地である国として、官民が連携して食品ロス削減国民運動「NO-FOODLOSS プロジェクト」を展開しています。

松本市も、このプロジェクトに協力し、食品ロスの削減を推進しています。

食品ロスの約半分は家庭から発生しています。

ぜひ、食品ロスの問題に関心を持ち、その削減にご協力ください。

平成25年度
松本市小中学校
環境教育支援事業
報告書

発行 松本市
〒390-8620
松本市丸の内3番7号
電話 0263-34-3000 内線 1444
E-mail s-kankyo@city.matsumoto.nagano.jp

編集 松本市 市民環境部 環境政策課
松本市教育委員会 学校教育課 指導室
協力 中信地区環境教育ネットワーク

印刷 庁内印刷



 健康寿命延伸都市・松本